

Kanoya

2023 National Institute of Fitness and Sports 2023 大学案内

スポーツで
未来を拓く
自分を創る

スポーツで未来を拓く自分を創る

2023 National Institute of Fitness and Sports 2023 大学案内

全国でただ一つの国立の4年制体育大学
国立大学法人 鹿屋体育大学
問合せ先：広報・企画室広報係
〒891-2393 鹿児島県鹿屋市白水町1番地
TEL：0994-46-4818 URL: <https://www.nifs-k.ac.jp/>

各種SNSで情報発信中！



Twitter



Facebook



Instagram



YouTube



公式マスコットキャラクター
パララン

国立大学法人 鹿屋体育大学



□ TOPICS	2
□ 体育学部	8
□ 大学院	18
□ 学生生活・就職	19
□ 施設	32
□ 課外活動	38
□ 入試情報	44
□ 地域貢献・社会連携	46
□ アクセス・周辺環境	48

鹿屋体育大学長

金久 博昭

学長メッセージ

鹿屋体育大学は、全国でただ一つの国立の体育系大学として、我が国のスポーツや武道及び体育・健康づくりについての教育と研究を発展させる使命をもった大学であり、その成果をもとに「実践的かつ創造的で、国際性、市民性を備えた、スポーツや武道及び体育・健康づくりの中核的、リーダー的人材の養成」を目的とする大学です。この目的を実現すべく「スポーツで未来を拓く自分を創る」というスローガンのもと、教育、研究、社会連携・社会貢献及びグローバル化という観点から、社会の信頼に応えられるよう自己改革しつつ、個性輝く大学をめざしています。

スポーツや武道は、身体的及び生理的現象であると同時に、その成績は、やる気、不安、緊張といった、心の有りように左右される心理的現象でもあります。そして、それらの現象に加え、スポーツや武道は、文化的、社会的現象でもあるため、限られた学問領域からのアプローチではそれらの本質を十分に理解することはできません。言い換えれば、スポーツや武道のリーダーとしての資質と能力を身につけるためには、複数の学問領域を、横断的、複眼的視野を持って学ぶ必要があります。鹿屋体育大学は、その学すべき学問領域の基盤として、スポーツ人文・応用社会科学系、スポーツ・武道実践科学系、スポーツ生命科学系の3領域からなる、多様な教員組織を構成し、スポーツや武道、体育・健康づくりに関する教育と研究の充実を図っています。

皆さんには、大隅の豊かな自然環境に囲まれたキャンパスと教育研究施設のなかで、各自の設定した目標を達成するように計画的に取り組み、これからの社会に必要なリーダーとしての能力を備えていただきたいと思います。

鹿屋体育大学は 開学四十周年を 迎えました

2021年10月、鹿屋体育大学は開学四十周年を迎え、9月25日に記念事業を開催しました。新型コロナウイルス感染症拡大の影響を鑑み、鹿児島県内在住の関係者のみの出席となりましたが、その模様はLIVE配信にて全国へ届けられました。記念式典では松下雅雄学長が、開学時からの地元の方の多大なるご支援に感謝し、



Blue Winds presents. かのやエンジョイスports ～オンライン運動会!!～を開催!

2021年11月13日、「2021 かのやエンジョイスports～オンライン運動会!!～」がオンラインにて開催されました。このイベントは、大学スポーツを活用した市民参加型の運動会を実施することで、大学を核としたスポーツと地域の融合による交流の増加を目的に、鹿屋市と鹿屋体育大学が共同で2018年から開催しています。昨年は新型コロナウイルスの影響で中止でしたが、今回はオンラインで4チーム20名が県内外から参加し、地元TV局アナウンサーの司会進行のもと、自宅などからオンラインで参加できる新しい運動会を約3時間にわたってエンjoyしました。

Blue Winds 主催のイベント 多数開催!



今後も実践的な指導者の育成に継続して取り組むこと、次世代の本学の実践的研究の継続と発展を祈念した挨拶を行いました。

引き続き行われた講演会は二部制で、一部では卒業生でアテネ五輪競泳800m自由形金メダリストの柴田亜衣さんが、「水泳と私～目標を持つことの大切さ～」と題し、東京からリモートにて講演を行いました。二部は、「鹿屋から掴んだオリンピック、そして今…」をテーマに、卒業生でオリンピックの山本さくらさん、宮田悠佑さん、橋本英也さん、高橋航太郎さんの4名にビデオ録画でご協力いただき、柴田さんと会場の地元TV局アナウンサーが進行を行うトークセッションという形で展開されました。トップアスリートへの道のり、IT化の進む今競技をする上で進化してほしいこと、ドーピングやセカンドキャリア等の課題など、様々な切り口でトークが繰り広げられ、在学生に対しては「目標を持って諦めずに進むこと」や「周りへの感謝を忘れないこと」などのメッセージが贈られる、充実の内容となりました。



みんなの タイムトライアル2021を開催!

2021年12月12日、3回目となる「みんなのタイムトライアル in 鹿屋体育大学」を陸上競技場において開催しました。

このイベントは、地域の方々にタイムトライアルの機会を提供するとともに、本学の資源を活かし、地域でのスポーツプロモーションを図ることを目的としています。Blue Winds事業は令和3年度のスポーツ庁委託事業として採択されており、今年は同イベントが大崎町でも開催されるなど、Blue Windsの輪が広がってきています。

2021 TOPICS

剣道全日本選手権で優勝

2021年9月、第60回全日本女子剣道選手権大会において、妹尾舞香さん(武道課程3年)が優勝しました! 剣道日本一を目指して鹿屋体育大学に入学した妹尾さんが、2度目の出場で念願の初優勝を飾りました。「支えてくださる多くのみなさんのおかげです」と満面の笑みで喜びを口にしました。



自転車競技部インカレ女子総合優勝

2021年8月、文部科学大臣杯第76回全日本大学対抗選手権自転車競技大会において、石上夢乃さん(スポーツ総合課程3年)が女子ロードレースで優勝、成海綾香さん(同3年)、中西美央さん(同1年)が女子チームスプリントで優勝しました! 女子総合でも5年ぶり14回目の総合優勝に輝くなど輝かしい成績を残しました。



カヌーインカレで4種目優勝

2021年8月、第57回全日本学生カヌースプリント選手権大会において、岩男凌さん(スポーツ総合課程4年)がカナディアンシングル200mで、吉田俊吾さん(同3年)がカナディアンシングル1000mで、田中智貴さん(同3年)、岩永紘明さん(同2年)がカナディアンペア200mで優勝しました! またこの4名がカナディアンシングル500m×4リレーでも優勝するほか、多数の選手が入賞するなど活躍しました。



日本海洋人間学会 優秀発表賞を受賞!

日本海洋人間学会第10回大会において、笹子悠歩特任助教が優秀発表賞を受賞しました。この研究は、セーリング競技スナイプ級のハイクアウト動作(風上帆走時に、艇から身体を乗り出し、体重で艇のバランスを取る動作のこと)に着目し、ハイクアウトの継続時間の向上に対して、自転車の全力ペダリング運動が一定の効果をもたらすことを明らかにしたもの。セーリング競技者が、悪天候や日没の関係等で海上練習が行えない日に、陸上で行うことが望ましいトレーニングに関して有益な示唆を得ることができました。セーリングの競技力向上に関する研究はメジャーな競技に比べて少ないとのこと、今後の更なる研究の発展が期待される受賞となりました。



全日本の舞台で 輝く本学の精鋭!

柔道全日本学生 体重別選手権30年ぶり優勝

2021年11月、2021年度全日本学生柔道体重別選手権大会(男子40回 女子37回)が開催され、柔道部の福田大悟さん(武道課程4年)が60kg級で優勝しました! 本大会での優勝は1991年以来30年ぶりの快挙です。同大会では90kg級で吉野弘人さん(同4年)も3位に入賞し、輝かしい実績を残しました。



なぎなた部インカレ団体の部優勝

2021年8月、第60回全日本学生なぎなた選手権大会において、試合競技団体の部で優勝しました! また、演技競技の部で上間朱里さん(武道課程3年)、秋葉笑里さん(同2年)が2位、試合競技個人の部で春山りんかさん(同4年)が3位に輝きました。

研究成果表彰

POINT | 01

22の団体が
全国・世界で活躍

>>> P38 ～「課外活動団体」



POINT | 02

2つの課程でそれぞれの専門に
向けた学びが可能

>>> P8 ～「体育学部」

NIFS 10

POINT | 07

47都道府県から
学生が集まり
仲間の輪が広がる

>>> P44 ～「入試情報」



POINT | 06

スポーツで
世界と
つながる

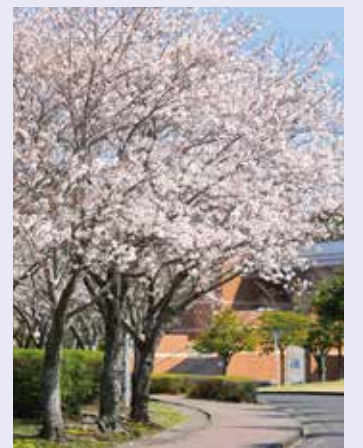
>>> P26 ～「国際交流」



POINT | 08

最先端の
研究設備を備えた
施設で学べる

>>> P32 ～「施設」



POINTS

鹿屋体育大がよくわかる
10のポイント



POINT | 03

ニーズに対応した
多様な
教育プログラム

>>> P18 ～「大学院」

POINT | 05

医師、保健師が
常駐し
リハビリ機器も
利用可能

>>> P22 ～「福利厚生」



POINT | 09

地域との交流で
様々な取り組み

>>> P46 ～「地域貢献・社会貢献」



POINT | 10

豊かな自然で
学びに集中
できる環境

>>> P48 ～
「アクセス・周辺環境」

POINT | 04

1年次から
手厚い就職支援

>>> P28 ～「就職支援」



スポーツで未来を拓く自分を創る



総合体育館 主体育室



テニスコート



総合体育館 体操練習室



総合体育館 ダンス練習室



武道館



アドミッション・ポリシー

- 1.【体育学を学ぶための基礎的な力を身に付けている学生】
文系・理系に偏ることのない基礎学力とともに、自分の得意分野の実技能力をも身に付けている学生。
- 2.【自己表現ができる学生】
自分が身に付けた学力や実技で得た経験値を総合的に活用・応用し、スポーツ・武道および体育・健康づくりに関する新たな課題やその解決策を考察し、他者に伝えることができる学生。
- 3.【新たな課題に挑む意欲のある学生】
礼節とスポーツマンシップを身に付けた、新たな課題に進んで挑戦しようとする、感性豊かで協調性のある学生。

カリキュラム・ポリシー

スポーツ・武道及び体育・健康づくりにおける実践的かつ創造的で、市民性、国際性を備えたリーダーを養成するために、課程や学生の志向性に沿って、学年進行で1.専門性の深化と充実、2.社会人としての豊かな教養の涵養、3.将来を展望し、勤労観・職業観を醸成できるための教育課程を編成しています。

ディプロマ・ポリシー

スポーツ・武道及び体育・健康づくりにおける実践的かつ創造的で市民性、国際性を備えたリーダーを養成するための知識・能力を身につけ、かつ所定の単位を修得した学生に学位を認定します。

「課程」と「系」

本学は、教育目標の達成に向け、体育学部にはスポーツ総合課程及び武道課程を設定し、各課程の中に3つの系(柔軟なコース)を編成し、それぞれの専門に向けた勉学ができるようにしています。

スポーツ総合課程

(定員：120名)

武道課程

(定員：50名)

スポーツ総合課程の目標

スポーツ総合課程は、体育・健康づくりに関する科学的な基礎知識や応用能力を有し、競技スポーツ、生涯スポーツ、健康づくりに関する専門的能力を、理論と実践の往還を通じて修得することにより、バイタリティーを持ち、国際社会の進展に対応できる実践的かつ創造的で、市民性を備えたリーダーの育成を目標とします。

専攻系の紹介

アスリート・コーチング系

トップレベルの競技力の向上、ジュニア期からトップレベルまでのコーチングを行うことのできる人材を養成するコース。

生涯スポーツ系

健康づくりのコーディネーターやスポーツクラブ等の管理運営、プログラム開発を行うことのできる人材を養成するコース。



武道課程の目標

武道課程は、体育・健康づくりに関する科学的な基礎知識や応用能力を有し、我が国発祥の身体運動文化として伝承され、今日において競技文化としても広く認識されている武道、特に柔道・剣道における心と技を伝統的修練形式である稽古を通じて修得することにより、武道の精神と、国際社会の進展に対応できる実践的かつ創造的で、市民性を備えたリーダーの育成を目標とします。

専攻系の紹介

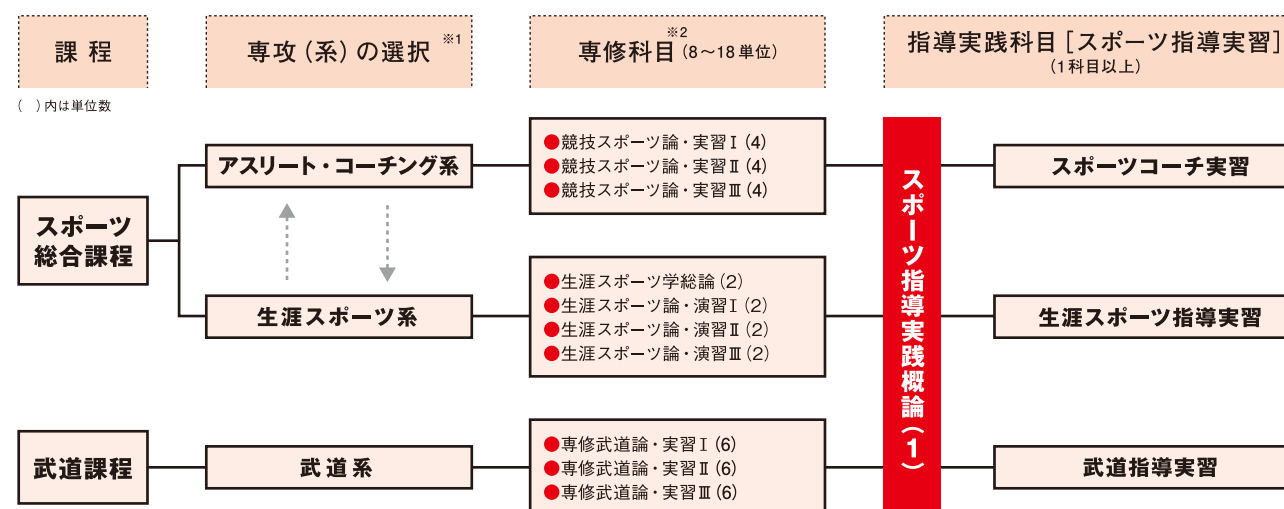
武道系

武道における「こころ」と「わざ」を伝統的修練形式により学び、武道の実技指導を行うことのできる人材を養成するコース。



専攻科目の系の選択

- ①スポーツ総合課程に所属する学生は、「アスリート・コーチング系」「生涯スポーツ系」より1系以上を選択し、履修します。
- ②武道課程に所属する学生は、「武道系」を履修します。



※1) 決められた条件の中で、1つの系以上を選択できるものとします。スポーツ総合課程では2つの系より選択できます。
※2) 各系の必修科目を示しています。
(注) 選択した系以外で履修可能な他系を ----> で示しています。

教育課程の編成

授業科目は原則として学期完結型の科目（学期毎に単位が取れる科目）として設定しています。
ただし、一部の科目について、通年科目（1年間履修して単位がとれる科目）となっています。

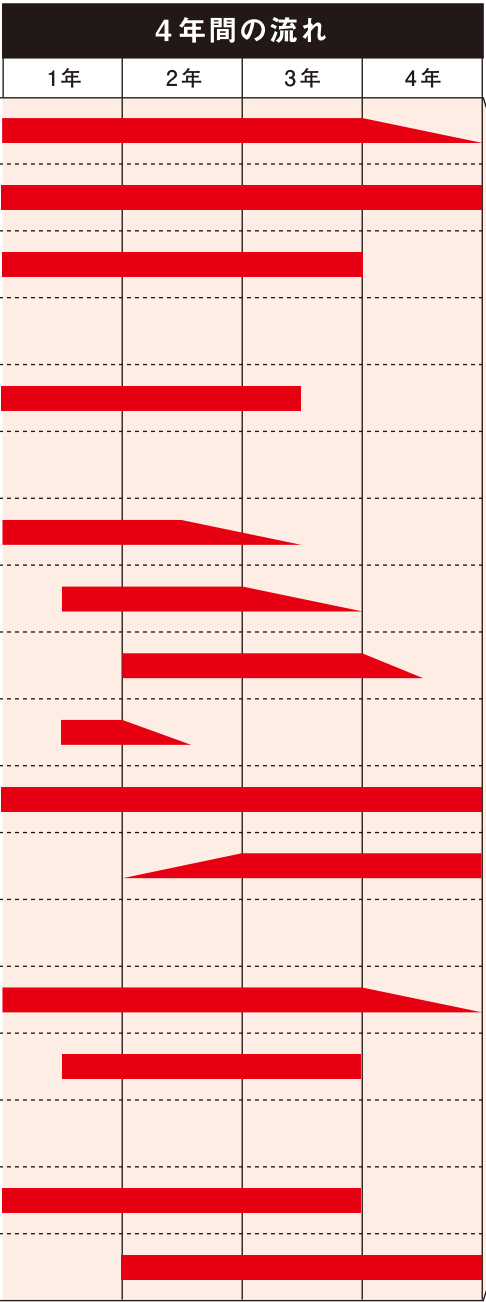
一 般 科 目	社会の一員として適切に振る舞う態度と豊かな教養、コミュニケーション能力を身につける科目
コミュニケーション科目	国内はもとより国際社会で活躍できる語学力とコミュニケーション能力を涵養する科目
社 会・文 化・自 然 科 目	社会の一員として、人間、社会、文化自然及び環境に関する教養や態度を涵養する科目
総 合 科 目	社会の一員として、基礎的な情報リテラシー、表現的能力や討論力を身につける科目
キャリア形成科目	スポーツリーダーとしての将来像と職業観・就業観及びキャリアデザイン力を醸成する科目
キャリアデザイン科目	スポーツリーダーとしての将来像と勤労観・職業観を醸成する科目
専 門 科 目	スポーツ・武道及び体育・健康づくりに関する専門的な知識、実技力、科学的支援力や表現的能力及び課題解決力を身につける科目
基礎科目A（人文・社会・自然系）	体育学の基礎となる人文・社会及び自然系の分野の内容を理解する科目
基礎科目B（指導・普及系）	スポーツ・武道及び体育・健康づくりについての指導や普及の基礎的な内容を理解する科目
応 用 科 目	国民各層のスポーツ・武道及び体育・健康づくりを指導し、普及させるための専門的、応用的な内容を身につける科目
実 験 演 習 科 目	スポーツ・武道及び体育・健康づくりに関する基礎的な科学的支援力や表現的能力を身につける科目
関 連 実 技 科 目	スポーツ・武道及び体育・健康づくりに関する基礎的な実技力を身につける科目
ゼミナール（卒業研究）	スポーツ・武道及び体育・健康づくりにおける関心のあるテーマについて、体育学の知識を総合的に活用し、課題設定、解決、説明する能力を身につける科目
専 攻 科 目	スポーツ・武道及び体育・健康づくりに関して年齢、目的等に応じた体系的な実技能力や事業運営力を身につける科目
専 修 科 目 （アスリート・コーチング系／生涯スポーツ系／武道系）	スポーツ・武道及び体育・健康づくりに関して、年齢、目的等に応じた体系的な実技指導力や事業運営力を身につける科目
指 導 実 践 科 目 （アスリート・コーチング系／生涯スポーツ系／武道系）	専修科目等で身につけた体系的な実技指導力や事業運営力を実地的・実践的に活用し、深める科目
教 職 科 目	中学校や高等学校の保健体育の教員としての免許状を取得するための専門（教科）及び教職に関する科目
教 職	中学校や高等学校の教員としての免許を取得するための教職に関する科目
専 門	中学校や高等学校の保健体育の教員としての免許を取得するための専門（教科）に関する科目

また、授業科目は下表のように、履修（選択）の仕方により「必修科目」、「選択科目」、「自由科目」に分類されます。

区 分	科目区分の特徴（ねらい）
必修科目	単一の授業科目で、その修得が義務づけられている科目
選択科目	複数の授業科目のうちから指定する科目数又は単位数の修得が義務づけられている科目
自由科目	必修科目及び選択科目を除き、その修得を卒業認定の要件とされている科目



2019年4月から作成している、学生が本学の教育目標やディプロマ・ポリシーを身近に意識するとともに、自身の学びの目的・目標をより明確なものにするための“学びの極意”「鹿屋体育大学での4年間が充実する秘密の書」を2022年にリニューアルしました。詳しくは本学HPでご確認ください。



スポーツ・武道及び体育・健康づくりにおける実践的かつ創造的で市民性、国際性を備えたリーダー



授業時間

1. 学期と授業時間割

学年を前期（4月1日～9月30日）と後期（10月1日～3月31日）に区分し、原則として学期ごとに授業科目の設定を行います。なお、授業は、原則として各学期とも15週（試験を課す場合は16週）にわたって行います。

	第1時限 (90分)	第2時限 (90分)	第3時限 (90分)	第4時限 (90分)	第5時限 (90分)
開始	8:30	10:10	12:40	14:20	16:00
終了	10:00	11:40	14:10	15:50	17:30

前期：4月1日～9月30日
後期：10月1日～3月31日

授業は、左表のとおり行います。
集中講義や学外授業などを行うことがあります。

2. 休業日

休業日（授業を行わない日）は次のとおりですが、休業日においても特別な場合には授業を行うことがあります。

- ① 週休日（土曜日・日曜日）及び国民の休日に関する法律に定める休日
- ② 開学記念日（10月1日）
- ③ 夏期休業日（8月5日～9月30日）冬期休業日（12月24日～1月9日）春期休業日（3月11日～3月31日）
- ④ その他大学が定めた日 注：休業日においても、特別な場合には講義を行うことがあります（集中講義等）。

3. 授業の方法

講義、演習、実験、実習もしくは実技又はこれらの組み合わせにより実施します。また、授業は対面形式の他、遠隔形式で実施しているものもあります。
※情報活用能力の育成等のため、タブレットコンピュータを必携としております。

ゼミナール

ゼミナールは、少人数の学生が指導教員の下で、お互いに質疑討論を交わし、学習成果を発表しながら専門研究領域における知識を深め、研究方法を履修していく授業形態です。3,4年次の必修科目で、各指導教員により実施されます。ここでは、数あるゼミの中から3つを紹介します。

スポーツ・武道実践科学系 | 三浦 健ゼミ | 競技力向上へ取り組み、“実戦”場面で検証する

私たちのゼミでは、主にバスケットボール専攻生が在籍し、各自が設定した課題に対して取り組んだことがどの程度有効であったのかについて、“実戦”の場面で検証しつつ、競技力向上へ繋げていきたいと常々考えています。各自の課題に関連する論文や指導書、参考映像等を収集し、ゼミでディスカッションをし合うことによって課題が整理され、取り組み内容が明確になってきます。向上させたい課題を絞り集中して取り組む方が、漠然と取り組むよりも有効なはずです。「どうせ卒業研究を作るのなら、“実戦”に役立たせよう!」が我々のコンセプトです。



丸山 真輝さん (宮崎県立宮崎南高等学校出身・宮崎)

私は自身のバスケットボール審判員としてのパフォーマンスを向上させるために、このゼミを選びました。私は現在JBA公認B級審判資格を取得し活動していますが、日本では数少ない大学在学中でのA級審判資格取得を目指しています。このためには心理面、技術面の課題を追究することが重要です。上級審判の方々からご指導いただいた点や資格取得に有益な情報等を整理し、その都度記述することにより意識化し、自身の審判員としての技能を高めていきたいです。

スポーツ生命科学系 | 村田 宗紀ゼミ | カ学を通して身体運動のメカニズムに迫る



私たちのゼミでは、スポーツにおける身体運動を力学的に解析し、その機序を明らかにすることや、動作とパフォーマンスの関係性を明らかにする研究に取り組んでいます。ゼミ活動では研究テーマを学生自身が決めるため、様々な動作(たとえば、テニス、サッカー、体操、バスケット、陸上など)について、学生自身が測定したデータを基に議論します。そのため、自身の専門種目に留まらず「なぜヒトはその動作を行うのか?」、「上手い人の動作は何が違うのか?」、「良いパフォーマンスとは何か?」といったことを考える機会が多いことが当ゼミの特徴です。

郷原 大晴さん (鹿児島県立鹿屋高等学校出身・鹿児島)

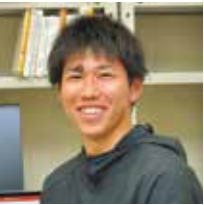
私は実際にスポーツの現場で起きている動作のメカニズムや、スポーツにおける正しい動作とはなにか、効率の良い動きとはどういったことを指すのか、についてより深く学ぶために当ゼミに入りました。現在は、本学の恵まれた研究設備と環境のもと、主に陸上競技の走動作についての研究を行っております。当ゼミでの研究や活動を通して、これまではただ眺めていたスポーツを、力学的根拠に基づいて観察する視点を持つことができ、より客観的にスポーツを見る力が身につきました。今後は走動作の分析をより深めていくと同時に、実用的なフィードバックの方法についても学んでいきたいと思っています。

スポーツ人文・応用社会科学系 | 和田 智仁ゼミ | スポーツ×テクノロジーの探求

スポーツにおけるテクノロジー活用が進んでいます。これまでトップアスリートやプロ選手だけが利用できた機器やシステムも、技術の発達や普及によってより広く利用できるようになっています。私たちのゼミではこれらのテクノロジーについて学び、スポーツで活用していくことを目指して研究に取り組んでいます。過去の卒業研究は慣性センサや衛星測位システムなどのセンサ利用やシステム開発、ゲーム分析やビッグデータ解析、VRを使ったスポーツトレーニングなど多岐にわたっています。個々の興味にもとづいたテーマに取り組むため、互いに刺激を受けつつ幅広いトピックについて学ぶことに繋がっています。

本間 諒一さん (和歌山県立日高高等学校出身・和歌山)

私は陸上競技の動作分析・フィードバックの手法を学ぶためこのゼミを選択しました。ゼミではスポーツを分析するために作られた様々な機器や分析方法を学ぶことができます。私自身も慣性センサなどを用いて動作分析を試みており、分析等は難しい部分も多いですがやりがいを感じています。ここで学んだ知識や知見は将来、選手のサポートや指導現場など「支える」スポーツとして活かしていけると考えています。



開設科目

一般科目

区分	授業科目名	履修年次	区分	授業科目名	履修年次	区分	授業科目名	履修年次
コミュニケーション科目	総合英語Ⅰ	1～4	コミュニケーション科目	韓国語	1	社会・文化・自然科目	生物化学論	4
	総合英語Ⅱ	1～4		国語・文章表現法	1		身体科学論	1
	総合英語Ⅲ (コミュニケーションのための英文法)	1～4		ドイツ語	1		環境論	3
	総合英語Ⅲ (英語多読・多聴)	1～4		フランス語	1		社会にでるための経済学	3
	総合英語Ⅲ (健康とスポーツ関連の英語)	1～4		日本語演習Ⅰ	1		バイオメカニクスを学ぶための物理数学	1
	総合英語Ⅳ (アクティブラーニング)	1～4		日本語演習Ⅱ	2		九州学 (歴史・文化)	1
	総合英語Ⅳ (スポーツ英語)	1～4		日本事情	1		九州学 (産業・社会)	1
	総合英語Ⅳ (日常会話)	1～4		現代日本事情	2		九州学 (自然)	1
	総合英語Ⅳ (プレゼンテーション入門)	1～4		各国文化研究	1～4		九州学 (環境・生命)	1
	総合英語Ⅴ (Q&Aのテクニク)	1～4	社会・文化・自然科目	倫理・哲学	1	総合科目	総合演習A	1
社会・文化・自然科目	総合英語Ⅴ (海外留学)	1～4		人権論	1		総合演習B	3
	総合英語Ⅴ (アクティブコミュニケーション)	1～4		ジェンダー論	1		情報処理A	1
	総合英語Ⅵ (オリンピック)	1～4		歴史学	2		情報処理B	2
	総合英語Ⅵ (異文化コミュニケーション)	1～4		社会学	2		情報処理C	3
	総合英語Ⅵ (海外で暮らす)	1～4		日本国憲法	1		プレゼンテーション・討論Ⅰ	2
	総合英語Ⅶ (実践プレゼンテーション)	1～4		日本文化論	1		プレゼンテーション・討論Ⅱ	3
	中国語	1		異文化理解	3		交流リベラルアーツ	1～4

キャリア形成科目

科目	キャリアデザイン		科目	キャリアデザイン		科目	キャリアデザイン	
キャリア	キャリアデザインⅠ	1	キャリア	キャリアコミュニケーション	3	キャリア	キャリア対策セミナー (一般企業)	3
	キャリアデザインⅡ	1		企業実習1週	2～3		キャリア対策セミナー (公務員)	3
	キャリアデザインⅢ	2		企業実習2週	2～3		ボランティア活動	1～4
	キャリアセミナー	3		キャリア対策セミナー (教員)	3			

専門科目

基礎科目	A	解剖生理学	1	応用科目	スポーツ文化論	2	関連実技科目	卓球①	1
		体育学概論	1		スポーツトレーニング実践論	3		卓球②	3
		体育・スポーツ史	1		スポーツ政策論	3		バドミントン	3
		健康教育学	1		武道文化論	3		ソフトボール①	2
		運動生理学	1		身体発育発達・老化論	2		ソフトボール②	3
		スポーツ栄養学	2		スポーツ戦術実践論	3		ダンス	3
		スポーツ社会学	2		スポーツ調査法	3		柔道	1
		スポーツマネジメント概論	2		スポーツビジネス論	3		剣道	1
		生涯スポーツ学概論	1		体育・スポーツ統計学	3		エアロビックダンス①	1
		スポーツ心理学	1		スポーツマーケティング論	3		エアロビックダンス②	4
基礎科目	B	バイオメカニクス	2	実験演習科目	運動処方論	3	関連実技科目	ジョギング&ウォーキング	3
		衛生学・公衆衛生学	2		応用スポーツ心理学	3		生涯スポーツ・レクリエーション&ゲームズ	1
		スポーツ医学	3		イベント管理学概論	3		アウトドアスポーツ実習 (夏季)	2
		救急処置論・実習	2		ヘルスプロモーション論・実習	3		アウトドアスポーツ実習 (冬季)	2
		トレーニング科学概論	2		スポーツ国際開発論	2		海洋スポーツ	2
		スポーツメンタルトレーニング論	2		スポーツパフォーマンス研究論	3		ラグビー①	1
		運動学概論	2		救急法実習	1～4		ラグビー②	2
		学校保健	2	実技科目	体育学実験Ⅰ (運動生理学、バイオメカニクス、スポーツ心理学、衛生学・公衆衛生学、スポーツ栄養学)	1	ゼミナール	ゴルフ	4
		スポーツと法	3		陸上・体操・水泳	3		なぎなた	4
		コーチ学概論	2		バスケットボール	1		相撲	2
		障がい者スポーツ論	3		サッカー	1		弓道①	2
		武道学概論	1		バレーボール①	3		弓道②	3
応用科目		コンディショニング論・実習	2		バレーボール②	4		野外活動	2
		生涯スポーツ実践論	3		テニス	2		体カトレーニング	1
		武道史	2					ゼミナールⅠ	2
		運動生化学	2					ゼミナールⅡ	3
		アスレチックトレーナー論	3					ゼミナールⅢ	4
		アスレチックトレーナー実習	4					卒業研究	4
応用科目		スポーツ産業論	2						

専攻科目

区分	授業科目名	履修年次	区分	授業科目名	履修年次	区分	授業科目名	履修年次	区分	授業科目名	履修年次	
専修科目	アスリート・コーチング系	陸上競技	1～4	専修科目	競技スポーツ論・実習Ⅰ、Ⅱ、Ⅲ、Ⅳ	1～4	専修科目	生涯スポーツ論・実習Ⅰ、Ⅱ、Ⅲ	2	指導実践科目	スポーツ指導実践概論	1
		水泳	1～4		海洋スポーツ	1～4		生涯スポーツ論・実習Ⅰ、Ⅱ、Ⅲ	2～3		スポーツコーチ実習	3
		体操競技	1～4		自転車競技	1～4		野外教育論・演習Ⅰ、Ⅱ、Ⅲ	2～3		生進スポーツ指導実習	3
		バレーボール	1～4		野球	1～4		専修武道論・実習Ⅰ、Ⅱ、Ⅲ、Ⅳ	1～4		武道指導実習	3
		バスケットボール	1～4		生涯スポーツ学総論	2		柔道	1～4		SCO-OP実習	3～4
		サッカー	1～4		生涯スポーツ論・演習Ⅰ、Ⅱ、Ⅲ	2～3		剣道	1～4			
		テニス	1～4		コミュニティ・マネジメント論・演習Ⅰ、Ⅱ、Ⅲ	2～3						

教職科目

区分	授業科目名	履修年次	区分	授業科目名	履修年次	区分	授業科目名	履修年次	区分	授業科目名	履修年次
教職科目	教師論	1	教職科目	特別活動論	3	教職科目	生徒・進路指導論	3	教職科目	保健体育科教育法Ⅲ	3
	教育心理学	2		教育方法・技術	2		教育相談・カウンセリング論	3		保健体育科教育法Ⅳ	3
	特別支援教育	1		学校と教育の歴史	1		教育課程論	2		教育実習Ⅰ	4
	道徳の理論と指導法	3		教育法・教育行政	2		保健体育科教育法Ⅰ	2		教育実習Ⅱ	4
	総合的な学習の時間の指導法	3		介護等体験	2		保健体育科教育法Ⅱ	2		教職実践演習 (中・高)	4

取得可能な資格

[1] 本学で取得できる教育職員免許状 ●中学校教諭一種免許状 ●高等学校教員一種免許状 ※本学の授業科目の履修によって取得することができます。

[2] 本学で取得できる資格・受験資格等

【スポーツ指導基礎資格】●スポーツリーダー 【競技別指導者資格】●コーチ1 ●コーチ3 ●教師 【フィットネス資格】●ジュニアスポーツ指導員 ●スポーツプログラマー 【マネジメント資格】●アシスタントマネジャー 【各種加盟団体等の資格】●日本サッカー協会公認C級コーチ ●全日本剣道連盟公認社会体育指導員 (初級) 【健康運動実践指導者】 ●健康運動実践指導者 【健康運動指導士】 ●健康運動指導士 【その他の資格等】 ●イベント検定 ●レクリエーション・インストラクター ●レクリエーション・コーディネーター ※資格取得のためには、本来は各種加盟団体が実施する講習会を受講し、検定試験に合格しなければなりません。本学は課程認定を受けていることから、指導者資格ごとに指定された本学の授業科目を履修すれば、講習会の一部が免除されます。

在学生からのメッセージ

私の時間割<3年前期>

	月	火	水	木	金
1限		運動処方論	アスレチック トレーナー論		スポーツと法
2限	生徒・ 進路指導論	陸上・体操・ 水泳	ダンス		
3限	保健体育科 教育法Ⅲ			キャリアコミュ ニケーション	武道文化論
4限					専修武道論・ 実習Ⅲー剣道
5限		学校と教育の 歴史			専修武道論・ 実習Ⅲー剣道

SENNO Maika

集中講義：ゼミナールⅡ 学外実習：武道指導実習（剣道）、介護等体験
■平成31年度入学AO(SS)入試 ■中村学園女子高等学校出身・福岡

妹尾舞香
武道課程4年

Q1：なぜ鹿屋体育大に？

指導者の先生方が素晴らしい、剣道に集中できる環境が整っていたからです。

Q2：今頑張っていること、目標は？

勉強と剣道の両立です。剣道で日本一になるという目標はもちろん、勉強も疎かにせずに一生懸命取り組んでいきたいです。

Q3：好きな授業はなんですか？

ダンスの授業です。私は運動音痴で今までダンスはできないし出来ればしたくないと思っていました。しかし、鹿屋体育大学のダンスの授業はとても楽しく好きになりました。

Q4：鹿屋体育大を目指す人に一言！

鹿屋体育大学は、自分のしたい事に集中して取り組める環境が整っていて、授業では多くのスポーツをする事ができるともいい大学です。私も鹿屋体育大学に来て良かったなと思っています。鹿屋体育大学を目指しているみなさん！鹿屋の地で一緒に勉強も課外活動も頑張りましょう！

私の時間割<2年後期>

	月	火	水	木	金
1限			保健体育科 教育法Ⅱ	総合英語Ⅳ (スポーツ英語)	トレーニング 科学概論
2限	教育方法・ 技術			スポーツ 産業論	
3限	テニス		学校保健		衛生学・ 公衆衛生学
4限	キャリアデザインⅢ 教育課程論	情報処理B	運動学概論 コーチ学概論		競技スポーツ論・ 実習Ⅱー水泳
5限		特別支援教育			競技スポーツ論・ 実習Ⅱー水泳

学外実習：介護等体験

■令和2年度入学（推薦入試） ■三重県立桑名高等学校・三重

IFO Kano

Q1：なぜ鹿屋体育大に？

国立大学で唯一の体育大学という点、競技に真剣に取り組める環境が整っている点、中学校・高校の保健体育の教員免許が取得できる点に惹かれて本学への入学を決めました。

Q2：今頑張っていること、目標は？

課外活動である水泳を頑張っています！インカレで少しでもよい成績を残すことが目標です。また課外活動を通して競技力だけでなく、人間としても成長できるように取り組んでいます。

Q3：好きな授業はなんですか？

スポーツ産業論の授業です。スポーツ産業の歴史やスポーツに対する新しい見方を学びました。他にも楽しい授業がたくさんあり、自分の視野を広げる事ができます。

Q4：鹿屋体育大を目指す人に一言！

鹿屋体育大学は、自然豊かな環境で課外活動や勉強に集中して取り組める場所です。スポーツに関して学びたい人や、競技力を向上させたい人にぴったりの環境が整っています。こんな鹿屋体育大学で目標に向かって一緒に頑張っていきたいです！

伊藤香乃
スポーツ総合課程3年

MESSAGES FROM STUDENTS

大園倫太郎
スポーツ総合課程2年

Q1：なぜ鹿屋体育大に？

体育・スポーツに関する研究がしたいと思い、研究施設が十分に整っているほか、国立大学唯一の体育大学というところに惹かれ、入学しました。

Q2：今頑張っていること、目標は？

課外活動と勉強の両立を頑張っています！課外活動は全日本インカレに出場すること、出雲駅伝に出場することで、勉強は本や論文を読んで学んだことを、人に教えられるようにすることを目標に頑張っています！

Q3：好きな授業はなんですか？

運動生理学です！高校時代から生物の授業が特に好きでしたが、それを体育やスポーツの視点から学ぶことができ、すごく面白い授業です！

Q4：鹿屋体育大を目指す人に一言！

どのスポーツにおいても全国トップクラスの選手が集まるので、日常生活から色々な刺激や学びをもらえます。体育やスポーツの分野に興味や夢を持っている皆さん、ぜひ鹿屋体育大学で一緒に頑張りましょう！

私の時間割<1年前期>

	月	火	水	木	金
1限	総合英語Ⅳ (スポーツ英語)		体育学概論	体育・ スポーツ史	
2限		ジェンダー論			情報処理A
3限		健康教育学	学校と教育の 歴史	キャリア デザインI	総合演習A
4限	剣道		身体科学論	ドイツ語	競技スポーツ論・ 実習Iー陸上競技
5限					競技スポーツ論・ 実習Iー陸上競技

■令和3年度入学（一般選抜） ■鹿児島県立鹿児島中央高等学校出身・鹿児島

OZONO Rintaro

馬場 琉玄

武道課程2年

Q1:なぜ鹿屋体育大に?

スポーツ・武道の理論や身体の仕組みについて深く学習できるカリキュラム・施設が整っており、充実した学習ができると思ったからです。また私の地元である鹿児島から出たくないということも理由の1つです。

Q2:今頑張っていること、目標は?

本学での学習のなかで栄養学について興味を持ち、それに関する論文に触れてみるなど自分なりに取り組んでいます。今の目標は、スポーツ栄養学について研究することです。

Q3:好きな授業はなんですか?

総合英語の授業です。私は近い将来海外留学を経験したいと考えており、そのために日々勉強に取り組んでいます。一口に英語と言っても本学の英語の科目には、スポーツ英語や日常会話、海外留学など様々な分野に分かれており自分が興味のある分野の英語を学ぶことができます。

Q4:鹿屋体育大を目指す人に一言!

鹿屋体育大学は自然豊かな環境、充実した施設に恵まれており、学習やスポーツに励むには最適な場所です。これまで自分が触れてこなかった新しい興味・関心にきっと出会えるでしょう。ここ鹿屋体育大学を志望する皆さん、ぜひ一緒に学びましょう!



BABA Rûgen

中 海了

スポーツ総合課程4年

Q1:なぜ鹿屋体育大に?

きっかけは、短大の先生(OG)からのすすめでした。短大時代、生涯スポーツを専攻していたので、今までの学びを活かせる大学に進みたいと思ったことや奨学金の継続などを考え、国立大学の中で唯一の体育大学である本学への編入を決断しました。

Q2:今頑張っていること、目標は?

現在は、学外活動(アルバイト)に力を入れています。子供たちの指導をするアルバイトを行っており、課外活動団体に所属していない分、学外活動ではマネジメントやコーチングなど大学で学んだことを実践に移し、子供たちを通して新たな気づき・学びに繋げることを努力しています。

Q3:好きな授業はなんですか?

一番好きな授業はマネジメントの授業です。スポーツに関連する様々な問題を知ることができ、自分自身の知見が広がったと思います。また、関連実技の授業では、経験したことがないスポーツや武道(弓道など)を学ぶことが出来るので、とても貴重な体験になると思います。

Q4:鹿屋体育大を目指す人に一言!

編入学は、2年という短い期間ではありますが、その中で実技だけでなく、スポーツを多方面から沢山学ぶことが出来るので、充実した2年間で過ごせると思います。課外活動団体への所属の有無に関わらず、学年の壁を越えた学生同士の繋がりが持てる大学です。また大学内だけでなく、学外での活動や地域交流など、自然豊かな鹿屋だからこそ学べることも多くあります。少しでもスポーツや武道、また鹿屋に興味を持つ人がいたら、ぜひ私達と一緒に学びましょう!



NAKAJIMA Minori



私の時間割<1年前期>

	月	火	水	木	金
1限		スポーツ心理学			運動生理学
2限		スポーツ指導実践概論 キャリアデザインII			特別支援教育
3限			体育学実験I	日本国憲法	武道学概論
4限		バスケットボール	体育学実験I	教師論	専修武道論・実習Iー柔道
5限		総合英語IV(アクティブラーニング)	体育学実験I		専修武道論・実習Iー柔道

集中講義:倫理・哲学

■令和3年度入学(一般選抜) ■れいめい高等学校出身・鹿児島



私の時間割<3年後期>

	月	火	水	木	金
1限			障がい者スポーツ論		教育相談・カウンセリング論
2限		スポーツ指導実践概論	スポーツ調査論	スポーツ産業論	生涯スポーツ論・演習Iーコミュニティ・マネジメント
3限			体育学実験I	弓道	生涯スポーツ論・演習Iーコミュニティ・マネジメント
4限		剣道	体育学実験I		
5限		学校と教育の歴史	体育学実験I		

集中講義:ゼミナールII

■令和3年度入学(第3年次編入)

■金光八尾高等学校出身・大阪、武庫川女子大学短期大学部健康・スポーツ学科・兵庫

GRADUATE SCHOOL OF PHYSICAL EDUCATION

大学院体育学研究科（体育学専攻）の目的

鹿屋体育大学大学院体育学研究科（体育学専攻）は、スポーツ・健康に関する学術の理論及び応用と実践が一体となった教育研究を展開し、その深奥をきわめ、又は高度の専門性が求められる職業を担うための深い学識及び卓越した学力を培い、スポーツ文化の進展及び国民の健康増進に寄与することを目的としています。

多様な教育プログラム

さまざまなニーズに対応した多様な教育プログラムのもと、多様な人材の入学をお待ちしております。

国立スポーツ科学センター（JISS）との連携大学院（博士後期課程）

国立スポーツ科学センターを主な勉学の場として、同センターの特色を生かした授業科目の履修及び研究指導を受け、鹿屋体育大学大学院の博士（体育学）の学位取得を目指すものです。



鹿屋体育大学



体育学・スポーツ科学連携大学院教育プログラム

本学大学院体育学研究科を中心として、体育教員が所属する修士課程を有する熊本大学と鹿児島大学、宮崎大学の大学院教育学研究科とが連携・協力して、鹿屋体育大学大学院の修士（体育学）または博士（体育学）の学位取得を目指すプログラムです。



筑波大学との共同専攻

スポーツ国際開発学共同専攻（修士課程）

スポーツというツールを用いて、国内外で生じている課題の解決に貢献できる人材の育成を目指す修士課程です。本学と筑波大学・日本スポーツ振興センターの3機関が共同して、スポーツを通じた国際開発と平和に関する実践的能力を養う教育プログラムを提供します。



大学体育スポーツ高度化共同専攻（後期3年の課程のみの博士課程）

大学体育スポーツの充実のために、教育指導と研究の循環を高度に展開できる能力育成を軸とした教育指向型の博士課程です。本学と筑波大学とが共同設置しており、一部の科目を除き、遠隔講義システムを利用して、それぞれの大学で開講する授業を受講することができます。



就学生生活職

CAMPUS LIFE & CAREER SUPPORT

学生宿舎紹介

学生宿舎は、大学敷地の一角に位置し、1棟70名収容の建物を5棟設けています。部屋はすべて個室（約6畳）で、収容人員は350名（男子280名、女子70名）、現在、在学生全体の約4割の学生が入居しています。棟内は、居室のほか、各階に共用施設として補食談話室、洗面、洗濯室、浴室、トイレ等があります。

寄宿料等は、1ヶ月当たり13,800円（寄宿料4,300円、運営費6,500円、居室電気料3,000円）です。規則正しい生活を送ることができるように、学部1年生から3年生については学生食堂での朝食摂取を入居の条件としています。

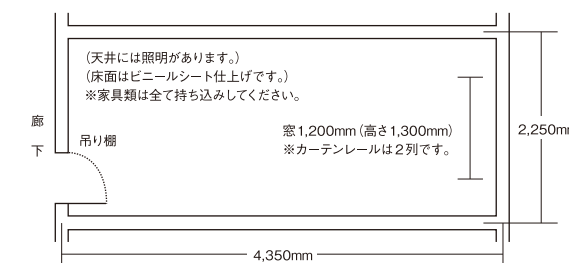
朝食代：年額75,600円（令和3年度実績）、年度当初に前納（理由がある場合は、事前の欠食届提出により返金）。

寝具類（掛・敷布団、毛布、枕、シーツ及びカバー）は、衛生管理面を配慮して入居者全員分を大学指定の業者からリースしています。消耗品（トイレトーパー、指定ゴミ袋、ゴミ袋、食器用スポンジ・洗剤、居室用蛍光灯）は入居者から徴収している運営費で購入しており、管理人室で払い出します。



居室

居室は、すべて個室（洋室）になっています。広さは約10㎡（長方形で約6畳）です。



大学院生からのメッセージ

充実した大学院生活

私はテニスをコーチング及び戦術の観点から研究しています。本学には球質測定システム（トラックマン）や電子スコアブックなどの実験機器があり、テニスの研究を思う存分に行うことができます。また、大学院の授業や研究生活を通して専門競技、研究分野の異なる先生方や学生と交流することで、多くの刺激を受ける日々を送っています。本学での学びを経て、実践的かつ科学的根拠に基づいた指導をできるよう努力しています。

田代 翔

TASHIRO Sho

- 大学院体育学研究科 体育学専攻（修士課程）2年
- 鹿児島実業高等学校出身・鹿児島



学生宿舎 Q&A

Q. 入居選抜方法について

A ■ 新入生においては、(1) 学生宿舎生活の支障の有無、(2) 自宅から大学までの距離及び交通手段、(3) 家庭状況及び経済状況、について勘案して選考を行います。加えて2年生からは、各種宿舎行事への出席状況や、日頃の生活態度なども審査対象になります。学生宿舎の入居許可期間は1年間（4月～翌年3月）ですので、入居後も毎年度選考を行います。

Q. 自動車の乗り入れについて

A ■ 学生宿舎には約150台分の入居者用駐車場があります。駐車場の利用は許可制ですので、学生宿舎管理人室で駐車場の空き状況を確認し、申請書類を提出することで利用できます。なお、利用できるのは原則学部2年生以上で、学生宿舎から大学へ自動車で通学することはできません（大学と隣接しているため、徒歩で通学可能です）。

Q. 周辺アパートについて

A ■ 大学周辺には学生向けアパート等が点在しており、家賃は、地域、部屋の設備等により異なりますが、6～8畳のキッチン、バス、トイレ付きで、25,000円～40,000円程度です。大学から5kmほど離れた西原地区は、家賃相場が多少上がりますが、スーパー、コンビニ等が大学周辺より多く生活至便です。

学生宿舎利用者

SUNAKAWA Misora



徒歩 5 分

砂川 海空

武道課程3年

■1カ月の生活費

家賃.....	13,800円
食費.....	20,000円
交際費.....	10,000円
交通費.....	8,000円
部費.....	2,000円
日用品.....	5,000円

計..... 約60,000円

■1日の流れ

7:30	起床
8:30	支度、朝食
	授業
11:40	昼食
12:40	授業
16:00	稽古(なぎなた部)
19:00	アルバイト
23:00	帰宅
	就寝準備
24:30	就寝

Q1: 寮の良さは何ですか？

・友達が増えること、学校がとても近い、門限がないところはとても良いです。

Q2: 学生生活の楽しみは？

- ・色んな県の人と仲良くなれる
- ・色んな競技の人と交流ができる
- ・1人の時間が増えたり、空きコマがあったりするので好きな事がとことんできる

Q3: お気に入りの場所やお店を教えてください

- ・みなと食堂。
- 漬け丼定食と炙り定食が値段が安く量も多くて最高です！

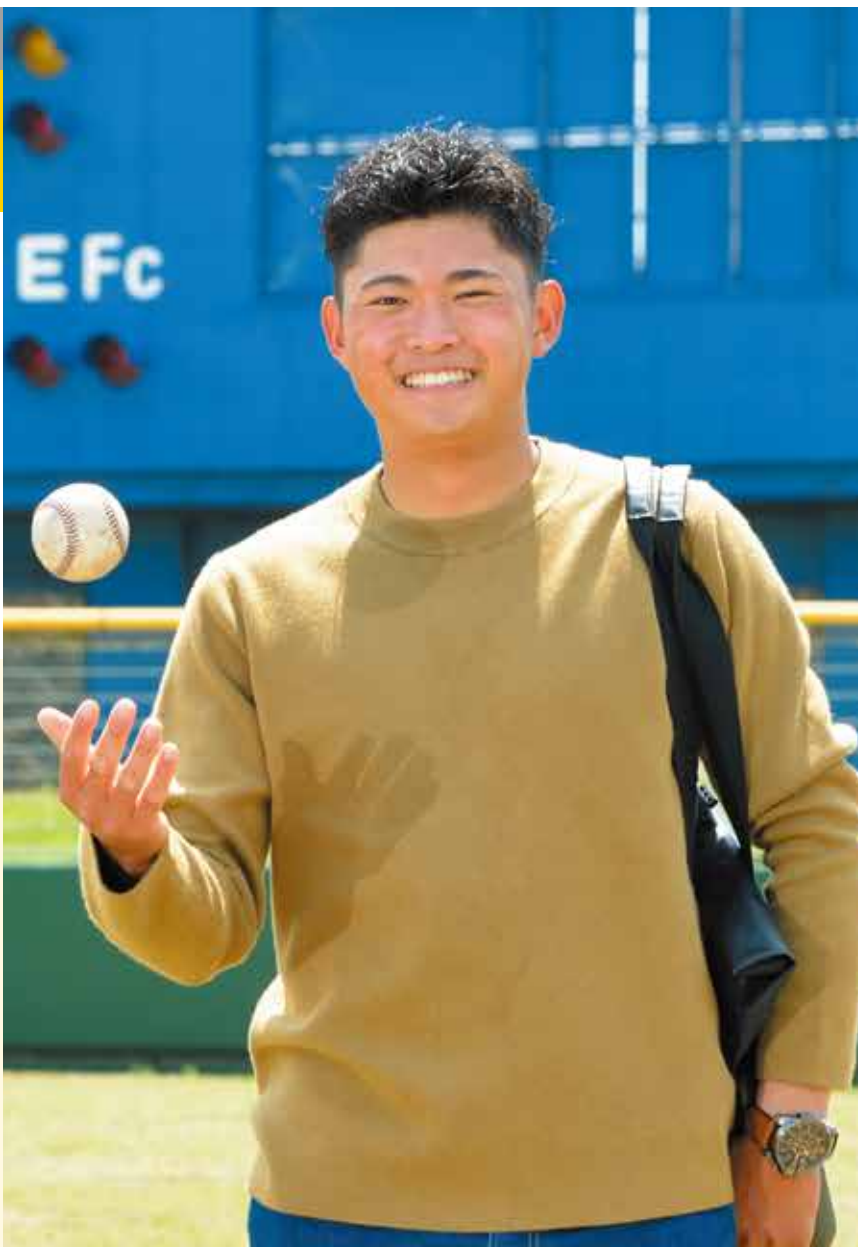
Q4: 休みの日は何をしていますか？

- ・友達と遠出、映画鑑賞、掃除、アルバイト



アパート・マンション利用者

NAGAYAMA Wataru



自転車 8 分

永山 航

スポーツ総合課程2年

■1カ月の生活費

家賃.....	32,000円
光燃費.....	8,000円
交通費.....	6,000円
日用品.....	3,000円
食費.....	19,000円
部費.....	5,000円
貯金.....	15,000円

計..... 88,000円

■1日の流れ

7:00	起床
	朝食、1限準備
8:30	授業
11:40	昼食
12:40	授業
16:00	課外活動(硬式野球部)
22:00	帰宅
	入浴、夕食
24:00	就寝

Q1: アパートの良さは何ですか？

- ・自分の時間を有意義に使える。私生活やお金などの管理を全て自分で行うことができるので、自己管理能力が身につく。

Q2: 学生生活の楽しみは？

- ・自分の興味のあることに集中して取り組める。(勉強、課外活動)
- ・県外や色々な競技に友達ができること。
- ・空きコマの自由時間を有意義に使えること。

Q3: お気に入りの場所やお店を教えてください

- ・きさらぎ亭。ランチがお得でとても美味しい！
- ご飯、味噌汁もおかわり自由で体大生にはもってこいです。

Q4: 休みの日は何をしていますか？

- ・買い物に行く。
- ・友達とご飯や遊びに行く。
- ・部屋の掃除をする。
- ・映画やドラマなどを見たりしてゆっくりしている。



COMMUNITY SERVICE FACILITIES

福利厚生

キャンパス内には、学生・教職員の健康の保持・増進を図るための施設として「保健管理センター」があるほか、福利厚生に資するため食堂、売店、理・美容室、ATMなどがあります。また、学生の憩いの場として「学生ラウンジ」を設け、学生相互のコミュニケーション等に利用されています。



保健管理センター

保健管理センターは、学生及び教職員の保健管理に関する専門的業務を行い、心身の健康の保持増進を図るための施設です。ここでは、通常医師及び保健師が在室し、学内で発生したケガ等に対する応急処置、健康及び精神衛生に関する相談・助言並びに保健指導のほか、定期健康診断等も行っています。また、リハビリテーションに必要な機器も備えてあり、リハビリを行うこともできます。



学生食堂

食堂は明るく開放感があり、多くの学生が利用します。朝食はバイキング方式で朝練後の学生や授業に向かう学生でにぎわいます。また、昼食はアラカルト方式になっており、好みのメニューを選ぶことができます。このほか、ランチバイキングやカレーフェアといったイベントも企画しています。※令和4年6月現在は新型コロナウイルス感染予防のため、朝食・昼食ともにアラカルト方式となっています。



学生ラウンジ



売店



理・美容室



ATM



合宿研修所



ロッカー室

学費 SCHOOL EXPENSES

入学科等（令和4年度）

区 分		金 額	納 入 時 期
入学科		282,000円	入 学 手 続 時
授業料	前 期	267,900円	5月下旬
	後 期	267,900円	10月下旬
その他経費（各種保険料等）		80,660円	入 学 手 続 時

学費の免除

1. 高等教育の修学支援新制度

令和2年度から、住民税非課税世帯またはそれに準ずる世帯の学生向けに、授業料・入学料の減免に、給付型奨学金の支給をセットにした新制度が開始されました。申込については、高等学校等での予約採用のほか、入学後の在学採用によっても申込むことができます（新制度の非対象者や大学院生には、大学独自の入学料免除・授業料免除制度があります）。

2. 入学料特別免除

入学前の競技成績（大学院の入試成績）の特に優れた者に対し実施します。SS入学者は全員、学校推薦型選抜入学者は競技成績により選考（申請不要）。

3. 授業料特別免除

在学中の競技成績又は学業成績の特に優れた者に対し実施します。

傷害保険 CASUALTY INSURANCE

教育研究活動中の不慮の災害事故の補償や、課外活動中・往復中の事故の補償のほか、他人への賠償等のために、次のような各種傷害保険を準備しています。

学生教育研究 災害傷害保険	保険料：3,300円（4年間）1,750円（2年間）
学生教育研究災害傷害 保険付帯賠償責任保険	保険料：1,360円（4年間）680円（2年間）
学生が体育実技や実験実習等の正課の授業中、学校行事、課外活動中等、教育研究活動中の事故や通学中等の事故によって被った傷害に対して、補償する制度。本学では、学生が安心して学業に励むことができるように入学期に全員加入していただいています。	
スポーツ安全保険	保険料：7,400円（4年間）3,700円（2年間）
課外活動団体等でスポーツ活動、指導活動等を行う者がその活動中や往復中に生じた事故によって傷害を被った場合や他人にケガをさせたり、他人の物を壊したりして損害賠償責任を負った場合、補償する制度。本学では、学生が安心して課外活動ができるよう学部生は入学時に全員加入していただいています。	
学生総合 補償プラン	保険料（4年間） 一人暮らしA__57,870円 自宅学生D__49,860円 一人暮らしB__50,070円 自宅学生E__42,060円 一人暮らしC__44,930円 自宅学生F__36,920円
学研災付帯 学生生活総合 保険	保険料（4年間） 自宅A__56,610円 一人暮らしD__64,190円 自宅B__41,220円 一人暮らしE__48,800円 自宅C__36,790円 一人暮らしF__44,370円
教育研究活動中のみならず日常生活で生じたさまざまな事故に対して、総合補償する制度。損害賠償制度や学費・育英費用にも対応しており、加入は、任意となっています。	

※令和4年4月現在

経済支援 ECONOMIC SUPPORT

鹿屋体育大学修学支援基金

寄付金及びその運用により構成される「鹿屋体育大学修学支援基金」を創設し、経済的理由により修学が困難な学生の支援を行っています。

- ① 授業料、入学料又は寄宿料の全部又は一部を免除する事業
- ② 学資金を支給する事業
- ③ 学生の留学に係る費用を負担する事業 等

特別奨学金（本学独自の奨学金）

学資負担者の死亡・失職等の理由により、経済的に著しく困窮し、かつ修学態度が良好である学生に対して、「特別奨学金(20万円)」を給付します。

日本学生支援機構

① 給付奨学金

高等教育の修学支援新制度のひとつとして、人物・学業ともに優れ、経済的な理由により著しく就学困難と認められる者に給付される、返還の必要のない奨学金です。

② 貸与奨学金（第一種：無利子、第二種：有利子）

人物・学業ともに優れ、経済的な理由により著しく就学困難と認められる者に貸与されます。

③ 入学時特別増額貸与奨学金（有利子）

日本政策金融公庫の教育ローンを低所得を理由に受けられなかった世帯向け。人的保証制度に代わる機関保証制度により、保証人がいない場合でも一定の保証料を支払うことにより奨学金を貸与されることがあります。

鹿屋体育大学 日本学生支援機構奨学生数一覧

学 部							
入学年度	学生数 a	一種	二種	併用 (一種+二種) 内数	貸与 人数 b	貸与 人数 b/a	給付 奨学金 受給者
H30	194	63	53	14	102	53%	39
R1	198	52	58	13	97	49%	33
R2	178	49	53	20	82	46%	29
R3	182	46	49	10	85	47%	29
合計	752	210	213	57	366	49%	130
大 学 院							
入学年度	学生数 c	一種	二種	併用 (一種+二種) 内数	貸与 人数 d	貸与 人数 d/c	
R1	12	2	1	0	3	25%	
R2	21	6	2	1	7	33%	
R3	29	6	1	1	6	21%	
合計	62	14	4	2	16	26%	

注）地方公共団体や民間の育英奨学事業団体等の奨学金もあります。



新入生歓迎会

鹿屋の地に早く慣れ親しんでもらうことを目的に、入学式後に地元鹿屋市の皆さんによる新入生歓迎会が開催されます。歓迎会では、かんぱちや黒牛、黒豚などの地元の特産品を用いた料理が振る舞われるほか、様々な歓迎イベントが行われます。

- 新入生オリエンテーション
- 入学式
- 新入生歓迎会
- 前期授業開始
- 競技力向上の会



- 第3年次編入学試験
- 夏季休業開始
- 学期末試験

○ 体育会定例総会



- 大学説明会・体験授業
- 交通安全等講習会



○ 大学院共同専攻入試



学園祭「蒼天祭」

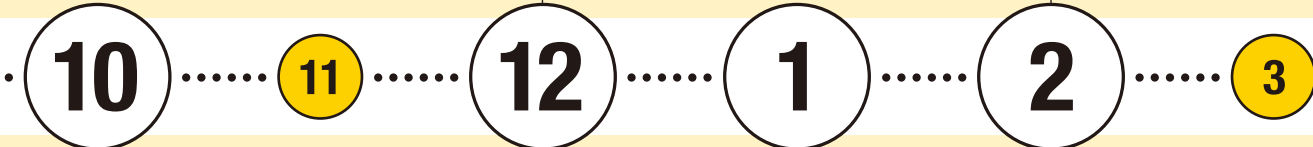
蒼天祭では、模擬店のほか、本学名物のマッスルコンテストや豪華景品が当たるビンゴ大会など毎年趣向を凝らしたイベントが行われ、学外から多くの方が来場されます。また、スポーツパフォーマンス研究センター（詳細35頁）の見学・体験や研究成果等のパネル展示も行われ、本学の教育・研究に触れていただく場にもなっています。

- 健康セミナー
- 学校推薦型選抜及び特別選抜
- 学園祭「蒼天祭」



- 学期末試験
- 競技成績報告会
- 学生リーダーズセミナー
- 一般選抜・私費外国人留学生入試

○ 体育会定例総会



- 開学記念日
- 後期授業開始
- 総合型選抜（SS）入試第2次選考
- 大学説明会
- 大学院体育学専攻入学試験

○ 大学入学共通テスト



卒業論文発表会

学部生は卒業論文が必修となっており、4年の後期に、指導教員のもと研究してきた成果の発表を行います。発表会では教員や学生と質疑応答が交わされます。

- 卒業証書授与式、学位記授与式

INTERNATIONAL EXCHANGE PROGRAM

国際交流

本学は、下の地図に示されている6か国・地域の10大学と大学間交流協定を結んでいます。このうち、上海体育学院（中国）、韓国体育大学校（韓国）、国立体育大学（台湾）、天津体育学院（中国）の4大学とは学生交流（交換留学）を行っています。交換留学生は学内選考を経て決定されます。留学期間は1年以内で、1大学当たり2名までを派遣しています。

交換留学においては、協定校で取得した単位を本学の単位として認定するための単位認定制度があります（ただし、協定校で取得した単位すべてが必ずしも本学の単位として認定されるわけではありません）。

この他、海外短期研修として、ハワイ（アメリカ）またはシドニー（オーストラリア）に2週間程度滞在（ホームステイ）し、現地の大学院生チューターによる英語特訓の後に現地でインターンシップを体験するプログラムやプロのラグビーチームとの連携でスポーツを通して英語を学ぶプログラムがあります。

外国人留学生在籍状況（令和4年5月1日現在）

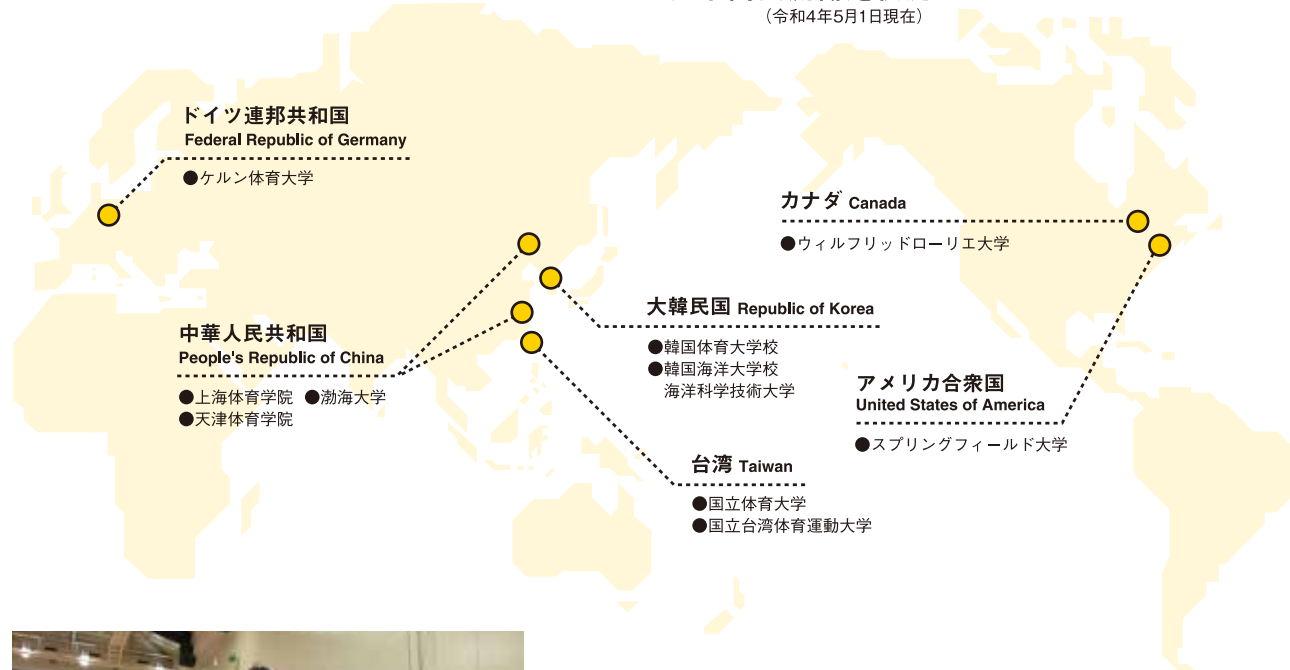
単位：人

国・地域	学生区分別内訳					計
	大学院生	学部学生	特別聴講学生	研究生	科目等履修生・聴講生	
中国	4	2	2	1	0	9
台湾	1	0	0	0	0	1
バングラデシュ	1	0	0	0	0	1
計	6	2	2	1	0	11

※「特別聴講学生」は、交換留学制度により交流協定大学から本学へ留学している学生です。

大学間交流協定状況

（令和4年5月1日現在）



文化交流イベント

2021年11月、外国人留学生と日本人学生の交流イベント「日本の運動会」を行いました。運動会の種目には、「玉入れ」や「輪回し」など日本の運動会でおなじみの種目、中国出身の留学生から教えてもらった中国の Sports Day で定番の「棒取りゲーム」、日本語・英語を駆使して回答する「3ヒントゲーム」等、運動だけでなく語学力を駆使する種目に、紅白2チームに分かれて挑みました。チームごとに各自の強みを活かす作戦を練りながら、親睦を深めつつ、お互いの文化を理解するイベントとなりました。

留学生からのメッセージ

私は、アルゼンチン出身のカノ トモキです。平成30年に鹿屋体育大学に入学しました。現在は、スポーツ総合課程体育学部の4年生で、間もなく卒業するところです。鹿屋体育大学に入学したら、多くの目標を設定して、自分の人間性を高めるようにすると良いと思います。そして、困ったことがあったら、国際交流係や指導教員の先生方はよく手伝ってくれるので、何も考えずに助けを求めるようにすることも大切だと思います。鹿屋体育大学はスポーツ系の学生にとっては理想的な大学だと思いますので、ぜひ鹿屋体育大学へ来てください。

カノ トモキ KANO TOMOKI

アルゼンチン出身 体育学部スポーツ総合課程 令和4年3月卒業



鹿屋体育大学での素晴らしい経験を皆さんと共有できることを、とてもうれしく思います。本学は、日本で唯一の体育学を専門とする国立大学です。広大なキャンパスは海と山々に囲まれた自然豊かな南方の地、鹿児島にあります。学生寮や学内で使えるWi-Fiなどの様々な設備に加え、本学ならではの医療面・栄養面での支援も魅力の一つとなっています。また、先生や職員の方々もとても親切で、留学生の生活や学業をサポートしてくれる部署もあります。このような環境の下、学業に専念しながら充実した生活を送ることができることに感謝しています。

ホサイン エムディ シャハジャダ

HOSSAIN MD SHAHZAD

バングラデシュ出身 体育学研究科修士課程スポーツ国際開発学共同専攻2年



2021年の4月頃に鹿屋体育大学に来て、鹿児島での生活が間もなく1年になります。この1年は専門知識を高めるだけではなく、忘れられない出来事もたくさん起こり、充実した時間を過ごすことができました。ここで、たくさんの日本人の友達と知り合い、先生たちの情熱あふれる指導を受けながら、いろいろな楽しい活動に参加したことで、学業だけではなく日本の文化についてももっと深く広く理解し、感得するようになりました。ここに来てよかったです。鹿屋体育大学ありがとうございました。

周杰 ZHOU JIE

中国出身 令和3年度体育学部聴講生 体育学研究科修士課程体育学専攻1年



私が入学した頃は、新型コロナウイルスの感染が拡大し始めたばかりでした。多くの授業がオンラインで行われ、イベントの中止や半月近い入構禁止など、体大生にとって最悪の状況だと思いました。しかし、マスクをつけてグラウンドで活動し、実験室で研究を行い、みんなは自分のやり方で「未来を拓く自分を創る」を貫いています。今後はコロナウイルスの影響が少なくなっていくと思うので、積極的にイベントに参加したり、周りの先生や学生と話し合ったりして、後悔しない大学生活を過ごし、鹿屋体育大学で自分らしく輝いてください。

果子翔 GUO ZIXIANG

中国出身 大学院体育学研究科修士課程体育学専攻 令和4年3月修了

就職支援

キャリア形成支援センター

キャリア形成支援センターは、就職やキャリア形成について学生の皆さんをサポートするためのセクションで、以下の設備等を備えており、学年に関係なくだれでも利用できます。

- ☐ インターネットにより就職情報等を検索できるパソコン（2台）（利用時間/8:30～17:15）
- ☐ 求人資料、各種就職専門書・専門雑誌、資格試験雑誌等
- ☐ 貸出用就職関係図書

また、キャリア形成支援センターには、就職相談員を配置し、就職相談に対応しています。

就職支援事業等（主なもの）

1 年次	☐ キャリアデザインⅠ ☐ キャリアデザインⅡ ☐ インターンシップ事前勉強会 ☐ 教員採用・公務員模擬試験
2 年次	☐ キャリアデザインⅢ ☐ 企業実習 ☐ インターンシップ ☐ 就職活動・採用試験報告会 ☐ 就職塾 ☐ 教員採用・公務員模擬試験
3 年次	☐ キャリアセミナー ☐ キャリアコミュニケーション ☐ キャリア対策セミナー ☐ 企業実習 ☐ インターンシップ ☐ 学内企業説明会 ☐ 学外合同企業説明会 ☐ 就活スタートアップ講座 ☐ 自己分析・自己PR作成講座 ☐ 業界・企業研究セミナー ☐ SPI対策講座 ☐ 面接・グループディスカッション対策講座 ☐ 就職塾 ☐ 教員採用・公務員模擬試験
4 年次	☐ 教員採用・公務員模擬試験 ☐ 教員採用試験直前対策 ☐ 教育実習 ☐ 模擬面接 ☐ エントリーシート・履歴書の添削



教員対策・公務員対策
模擬試験を年数回実施しています。
また、希望者に対しては、模擬面接も随時実施しています。



学内企業説明会
学内にて企業の採用担当者による企業説明会を開催しています。

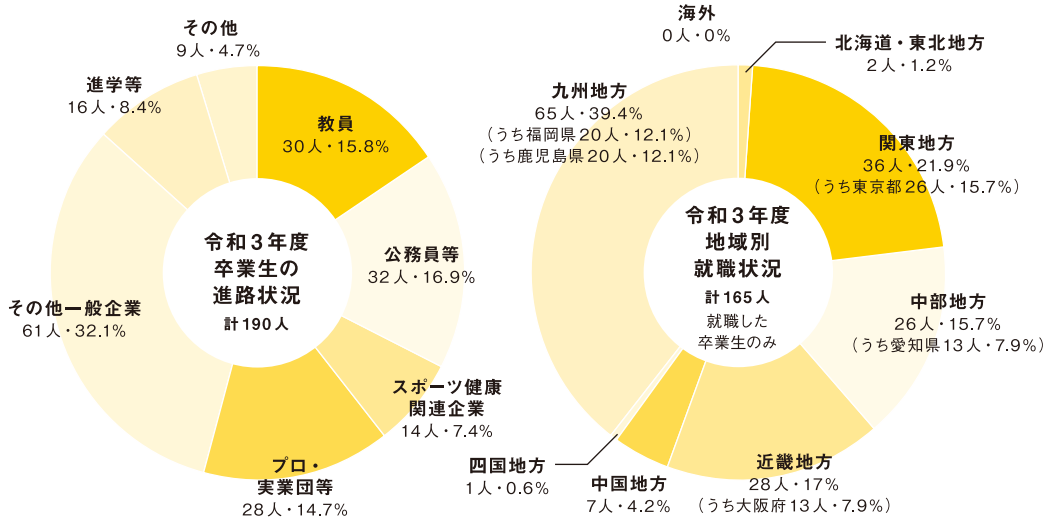


就職塾
年数回、休日を利用して外部講師を招いて「就職塾」を開講しています。この企画では、職業選択や自己分析についてアドバイスいただくとともに、履歴書の書き方や面接の心構えについても指導してもらいます。



合同企業説明会
年1～2回福岡市で開催される合同企業説明会に、借り上げバスを利用して「日帰りバスツアー」を行います。

就職実績



卒業・終了後の進路状況等は
このQRコードへアクセス願います

主要就職先

過去5年間の主な就職先・進路先<平成29年度～令和3年度>

教員（臨時的任用教員・非常勤講師を含む）

東京都、愛知県、京都府、大阪府、兵庫県、広島県、山口県、香川県、福岡県、熊本県、大分県、鹿児島県 ほか28県

公務員

〔行政職〕福岡県、藤枝市、福山市、呉市、土浦市、姫路市、佐賀市、伊万里市、あさぎり町、鹿児島市、指宿市、日置市、垂水市、志布志市、大崎町、那覇市、ほか全20自治体〔警察官〕警視庁、神奈川県警、三重県警、大阪府警、兵庫県警、広島県警、岡山県警、福岡県警、佐賀県警、長崎県警、熊本県警、大分県警、宮崎県警、鹿児島県警 ほか全29都府県 〔刑務官〕東京拘置所、和歌山刑務所、福岡刑務所、北九州医療刑務所、長崎刑務所、熊本刑務所、宮崎刑務所、鹿児島刑務所〔消防士〕東京消防庁、前橋市、西宮市、福井市、名古屋市、大阪市、堺市、福岡市、久留米広域消防本部、八代市、大隅肝属地区 ほか6自治体〔その他〕陸上自衛隊、青年海外協力隊 ほか

スポーツ関連企業

RIZAP(株)、イトマンスイミングスクール、セントラルスポーツ、大阪府マリナ協会、モンベル、太陽スポーツクラブ、ドームユナイテッド、リーフラス、カーブスジャパン、松本山雅FC、ミズノ、ドーム、アシックスジャパン、チャコット、キャノンデール・ジャパン、FC琉球、阪神タイガース、O1EGG.Fitness、THINKフィットネス、東大阪スタジアム、LAVA international、太陽フィットネスクラブ、ジャパンアスリートトレーニングセンター大隅 ほか約100社（敬称略）

プロ・実業団等の選手

〔サッカー〕ブラウブリッツ秋田、湘南ベルマーレ、クリアソン新宿、アスクルラロ沼津、FC大阪、FCティアモ枚方、徳島ヴォルティス、松江シティ FC、アビスパ福岡、ギラヴァンツ北九州、サガン鳥栖、大分トリニータ、テゲバジャ

一宮崎、ホンダロック、鹿児島ユナイテッドFC ほか〔バレーボール〕プレステージ・インターナショナルアランマーレ山形、JTマーヴェラス、SAGA久光スプリングス、デンソーテンレッドフェニックス、上尾メディックス、トヨタ車体クインシーズ、マックスバリュ・ビクトリーナ ほか〔バスケットボール〕新潟アルビレックスBBラビッツ、山梨クイーンビーズ、紀陽ハートビーズ、山形銀行Lyers ライジングゼファーフ岡、アクアテック ほか〔自転車〕Ciel Blue鹿屋、KINAN Cycling Team、シマンレーシング、UVCA Troyes Fem、レバンテフジ静岡、ヴィクトワール広島〔陸上競技〕資生堂、京セラ、TOTO、キャノンアスリートクラブ九州、長谷川体育施設、エディオン〔体操競技〕セントラルスポーツ、徳洲会体操クラブ、相好体操クラブ〔野球〕大福ロジスティクス、西部ガス(株)、高知ファイティングドッグス〔柔道〕日本エースサポート〔剣道〕上地自動車学校〔プロレス〕新日本プロレス（敬称略）

その他の一般企業

北海道新聞社、TOSテレビ大分、横浜銀行、伊予銀行、中国銀行、鹿児島銀行、川崎信用金庫、マイナビ、ANA、Sky、明治安田生命、大東建託、ホリプロ、JFEスチール、積水ハウス、一条工務店、七炉建設、大和ハウス工業、住友不動産販売、パナソニックホームズ不動産、東和薬品、日本マクドナルド、コカ・コーラボトラーズジャパン、スポーツフィールド、ネクステージ、日本防蝕工業、住友林業、スターフライヤー、中部電力パワーグリッド、パロマ、トヨタカローラ、マツダ、スズキ、JTB、JR九州、日本生命、ANAエアポートサービス、フジドリームエアラインズ、日本通運、佐川急便、南州農場、TSO International、ホテルリステル、西日本鉄道、NTTコムエンジニアリング、イオンビッグ、カインズ、ナフコ ほか約270社（敬称略）

進学

鹿屋体育大学大学院、筑波大学大学院、信州大学大学院、奈良教育大学大学院、大阪大学大学院、神戸大学大学院、広島大学大学院、福岡教育大学大学院、熊本大学大学院、九州大学大学院 ほか

就職活動体験談

人との出逢いを大切に

私の夢は教師になることです。しかし、ボート競技を続けたい、それからでも教師になるのは遅くないと思い、実業団を志望しました。
教員志望だったため就活の進め方が分からず不安でしたが、キャリア形成支援センターや就職相談員の指導とサポートのおかげで、合格出来ました。
就活や進路の不安は多いと思います。私のように4年間で考え方が変わる事もあると思います。そんな時はキャリア形成支援センターや就職相談員に相談してみてください！
人との出逢いをきっかけに自分の将来が見つかるかもしれません。出逢いを大切に学生生活を楽しんで！

谷口 智佳子

TANIGUCHI Chikako

- スポーツ総合課程 令和4年3月卒業
- 愛媛県立宇和島東高等学校出身・愛媛
- 勤務先：中部電力パワーグリッド株式会社





人生の土台を作る4年間

鹿屋体育大学はスポーツについて幅広く学ぶことができます。そこで学んだことを自身のスポーツに応用できる点も鹿屋体育大学の強みなのではないでしょうか。私はウィンドサーフィンを専門に活動し、ゼミでの慣性センサーを使った研究は特に役に立ちました。

卒業後はプロウィンドサーファーとして活動する一方で、地元大分で自身の会社を設立し海洋スポーツ施設の管理、運営をしています。

鹿屋体育大学での4年間は私の人生の土台を作ってくれたと思います。

株式会社カラワークス

穴見 知典 ANAMI Tomonori

スポーツ総合課程 平成31年3月卒業
大分県立国東高等学校出身・大分

人生最後の競技生活で得たもの

私は鹿屋体育大学に進学するにあたり、長年継続してきたテニスが続けるか非常に悩みました。しかし、今後選手としてプレーをする機会はないのではないかと考え、4年間をテニスと共に歩む決断をしました。自主性を尊重する課外活動や、全国トップクラスの仲間の刺激もあり、ずっと苦しいと思っていたテニスとの向き合い方が変わり、試合で勝利を収めることだけが重要ではないことに気がきました。

努力をしても結果が出るとは限りません。ただ、この大学ではその過程を通して自分の価値観を大きく変えることができる、私はそう思います。

株式会社フジドリームエアラインズ
運航乗員部 乗務管理グループ

鈴木 日菜 SUZUKI Hina

スポーツ総合課程 令和3年3月卒業
静岡県磐田南高等学校出身・静岡



人間として成長できる場所

私が鹿屋体育大学を志望した理由は、国立大学なら課外活動でバスケットをしてもいいと親に言われたから。私が東京消防庁を志望した理由は、大学で得た自分の強みを活かし、東京をはじめ、日本を支えられる人間になりたいから。

この志望理由だけで自分の成長がわかります。それは鹿屋体育大学がそういう場所だったからです。4年間でどう成長できたか、それを社会にどう活かそうとしているか、そんな人間としての強さが身に付きます。これ以上良いことを書くと、倍率が上がってしまうのでこの辺にしておきます(笑)。皆さんが入学して夢を叶えることができるのを応援しています。

東京消防庁

櫻田 響 SAKURADA Hibiki

スポーツ総合課程 令和3年3月卒業
北海道立札幌月寒高等学校出身・北海道



夢を見つけた大学生活

私はバレーボールで日本一になりたいという思いから鹿屋体育大学に入学しました。そこでは、同じ目標に向かって苦楽を共にできる家族のような仲間に出会うことができ、競技力の向上だけではなく多くの経験と思い出を作ることができました。

バレーボール部での活動では、小中学生の成長する姿を見る機会があり、もっと成長に携わり私の恩師のようにになりたいという大きな夢をもつようになりました。

充実した施設と先生方の指導のおかげで現在、中学校教員になることができ、夢を与えてくれた鹿屋体育大学には感謝の気持ちでいっぱいです。

廿日市市立大野中学校 教諭

金本 彩花 KANEMOTO Ayaka

スポーツ総合課程 令和3年3月卒業
広島市立沼田高等学校出身・広島



出会いと学びで個性を磨ける場所

私は現在積水ハウス株式会社に就職し営業として働いております。在学時は陸上競技部に所属し、日々練習に励んでいました。鹿屋体育大学は周りに娯楽施設などが少なく、温暖な気候の中で、とことん競技に打ち込める環境があります。また、全国各地から様々な種目のトップアスリートが集まり多くの出会いや学びがあります。

そんな中で競技力はもちろんのこと、人間性や仲間との絆を深め最高の4年間になるよう夢に向かって頑張ってください。4年間で学んだことは必ず今後の糧になります。多くの可能性を秘めた皆様が心から応援しております。

積水ハウス株式会社

有木 隆太 ARIKI Ryuta

スポーツ総合課程 令和3年3月卒業
広島県立広島井口高等学校出身・広島



CAMPUS AND FACILITIES



① ゴルフ練習場

南側の丘陵斜面に設置され、打席数は11、フェアウェイは130m×38mの広さです。



② スポーツパフォーマンス研究センター

スポーツ現場の実践知を科学的エビデンスとして創出し、活動現場へ還元する「スポーツパフォーマンス研究」を推進するための国内初の最先端研究設備を備えた屋内研究施設（詳細は35頁）。



③ 合宿研修所

本学学生の合宿研修及び本学の主催する講習会、研修会等に参加する外来者の合宿研修に使用する施設で、講師宿泊室5室、洋室（ベッド数8）9室、和室（15畳、6名収容）6室、があり、計113名が宿泊可能です。その他に、研修室（50名、20名）を2室設置しています。



④ 陸上競技場

全天候型の400mトラックで競技会ができる3種公認競技場です。



⑤ トレーニング場

主に屋外競技用のトレーニング施設で、科学的トレーニングを行うための各種ウエイトトレーニング機器等が設置されています。



⑥ サッカー場・ラグビー場

公式競技用としての広さを有し、サッカー場・ラグビー場それぞれ全面天然芝張で照明設備も設置されています。



学生宿舎（19頁参照）



⑦ 野球場

両翼92m、中堅117mあり、スコアボードは本部席から操作できるように判定表示装置が設置されています。



⑧ 附属図書館

附属図書館は、1階に受付カウンター、開架閲覧室、NIFSラコモ（自学自習の場）、2階に開架閲覧室、グループ学習室などを設置しています。一般市民の方々も利用可能です（詳細は36頁）。



⑨ 武道館

武道の継承、振興及び競技力の向上を目指す本学武道課程の中心施設です（詳細は34頁）。



⑩ 総合体育館（主体育館/1F）

総合体育館は各種公式競技に対応できるよう設計されており、主体育室は球技用としてバスケットボール2面、バレーボール2面、テニス2面、ハンドボール2面、バドミントン8面の競技が可能なスペースを確保できます。その他、ダンス練習室、トレーニング室があります。



⑩ 総合体育館（体操練習室/2F）

体操練習室には、鉄棒、跳馬、あん馬、つり輪、ゆか、平均台、平行棒等の体操競技に必要な器具・設備が設置され、公式競技も可能となっています。



⑪ 球技体育館

室内競技専用の体育館で、バレーボール（バスケットボール）、バドミントン、卓球の専用室があります。



⑫ 屋内実験プール

泳ぎについて科学的に教育研究活動が行えるように最新鋭の設備機器と50m長水路、25mの短水路のコースを備えた日本で唯一の実験プールです（詳細は34頁）。



⑬ テニスコート

全面ハードコートで照明設備も設置されています。

CAMPUS AND FACILITIES



屋内実験プール

単に水泳競技用だけでなく、「泳ぎ」について運動力学、運動生理学的見地から科学的に教育研究活動が行えるよう最新鋭の機器を備えた施設です。1階は、50m×8レーン（25m×8レーンに変更可能）、水深2.0m～4.0m、高飛び込み5m、実験研究用コース（スイミミラー、ペースメーカー等の実験用器材を設置）、水泳のフォームをあらゆる角度から分析できる減圧調整可能流水プール、データ解析室等の設備を備えています。2階はミーティングルームのほか、上部からもビデオ撮影及び見学ができるキャットウォークも設置されています。水温は適温に調整され、薬剤注入や滅菌が自動的にできる循環濾過装置も設置されています。



柔道場



剣道場

武道館

武道の継承、振興及び競技力の向上を目指す本学武道課程の中心施設。1階に柔道場と相撲場、2階に剣道場、武道館に隣接して弓道場があります。

- 柔道場** 公式競技が同時に2面可能な342畳敷の柔道場、さらにサブ道場（136畳敷、ウェイトトレーニング用機器常置）も設置されています。
- 剣道場** 公式競技が2面可能な剣道場及びサブ剣道場があり、床は松材です。
- 相撲場** 武道館1階に設置されています。
- 弓道場** 武道館に隣接しており、6人立ちが可能となっています。



相撲場



弓道場



スポーツパフォーマンス研究センター



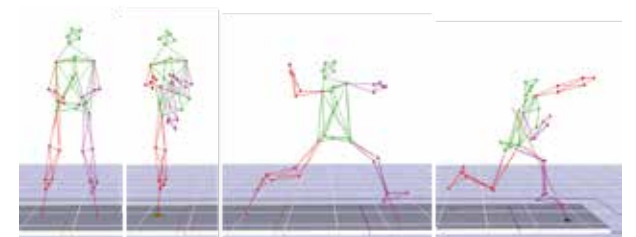
(図1) フォースプレート
走行直線にフォースプレートを54枚設置（スタート地点を含む）
歩行や走行などの動作を行う際の地面反力を測定できる機器



(図2) フォースプレート一体型マウンドおよびバッターボックス
フォースプレート完備のピッチャーマウンド・バッターボックスで、投手と打者の同時測定が可能（写真はマウンド）

スポーツパフォーマンス研究センターは、国内初の最先端スポーツ科学研究設備を備えた学内共同教育研究施設です。スポーツ現場のコツやカンといった『実践知』を科学的エビデンスとして創出・還元するスポーツパフォーマンス研究を推進するため2018年に設置されました。屋内スポーツ実験室には主要設備として、世界最長の50mフォースプレート（図1）、フォースプレート一体型マウンドおよびバッターボックス（図2）、モーションキャプチャシステム（図3）、オブジェクトトラッキングシステム（図4）、ハイスピードカメラ、球質測定システム等の最新の測定機器に加え、可動式カメラ架台、大型モニター2台が設置されています。

スポーツ実験室は約3,500㎡（70m×50m）の広さで、高さ15m、床は人工芝と陸上用のウレタン走路（屋内70m、屋外40m）の最長110mで構成されており、屋外（屋根付き）にはテニスコートが一面併設されています。施設内では、陸上、テニス等の個人種目に限らず野球やサッカー等のチーム種目におけるゲームパフォーマンス分析など多様なスポーツパフォーマンス測定を実施することが可能です。



(図3) モーションキャプチャシステム：
反射マーカークの三次元位置情報をデジタルデータとして取得できる機器



(図4) オブジェクトトラッキングシステム：選手に装着したセンサーから座標位置、移動速度、身体の向き、心拍数などの情報を無線方式でリアルタイムに測定可能な機器

附属図書館 Library

附属図書館では、教育研究活動に必要な専門図書や一般教養図書のほか、体育・スポーツ、レクリエーションや武道分野の雑誌、映像資料等DVDも数多く所蔵しています。電子ジャーナル、英文多読に最適な電子図書も利用できます。また、グループ学習室、NIFSラコモもあり、タブレットPCを使ったグループディスカッションなど学生の自学自修の場としても活用できます。



■附属図書館ホームページ
<http://www.lib.nifs-k.ac.jp>



国際交流センター

International Exchange and Language Education Center

国際交流センターでは、「スポーツ・異文化理解・語学の3本柱を有機的に結びつけた事業を通して、本学のグローバル化を推進する」というビジョンに基づき、よりよい語学教育カリキュラムの開発・実施、海外の交流協定締結校からの留学生の受け入れ及び本学学生の派遣、米国ハワイ及びオーストラリアシドニーへの海外短期研修プログラム、スポーツ・武道を通じた国際交流活動、留学生と日本人学生の交流活動などを行っています。

■国際交流センター Facebook
<https://www.facebook.com/IELEC.NIFS>



海洋スポーツセンター

Center for Water Sports and Sciences

海洋スポーツに関する実践的指導者の養成、競技力向上(ヨット、ウィンドサーフィン、カヌースプリント、ボート等)、生涯スポーツ(セーリング、SUP、シーカヤック、スキndaイビング、磯遊び等)の展開といった事業のもと、理論教育・実践指導・研究活動に取り組んでいます。また、公開講座の開催や関連団体のセンター活用など、施設開放も実施し、学外の海洋スポーツ関係者・団体との交流・研修も行っています。海洋スポーツ各事業・活動・研究成果などの情報を学内外に発信することによって幅広く、海洋スポーツの普及・振興に努めています。



スポーツトレーニング教育研究センター

Center of Sports Training Research and Education

高度な測定機器やトレーニング機器を本センターに集中的に配置し、学内共同利用施設として、教員はもとより学部生や大学院生が自由に施設を活用して、トレーニングの研究や教育を行う場を提供しています。また、各種のトレーニングの意義や効果を科学的に分析・評価するために、様々な研究プロジェクトも行われています。

たとえば、発育・発達段階に応じた一般児童生徒の体力づくりや、ジュニアアスリートのトレーニングの新たな方法を開発するために、地域の小・中・高等学校と連携して体力測定を行い、そのデータに基づいたトレーニングを長期的な視点で行っています。また、様々なスポーツ種目に携わる本学の選手や国内の一流選手を対象として、同様の研究も行っています。これらの研究成果を講習会、学術誌、広報誌などを通じて、学内外に情報発信しています。



プロスキーヤーで登山家の三浦雄一郎さん

スポーツ情報センター

Information Technology Center for Sports Sciences

情報通信技術を用いた教育と研究を支援するとともに、情報の発信を通じて体育・スポーツの進展に寄与することを目的としています。

キャンパスネットワークやコンピュータシステム、情報セキュリティなど学内のICTに関わる管理・運用とその研究、スポーツにおけるICT活用の支援と研究、三次元動作分析装置や高速度カメラなどスポーツ科学研究機器の貸出や技術支援などを行っています。



生涯スポーツ実践センター

Interdisciplinary Research Center for Lifelong Sport and Physical Activity

生涯スポーツに関する実践指導と学際的な研究・教育を広く社会との連携を図りながら行うことを目的としています。

主に、人々の各ライフステージに応じた運動・スポーツプログラムの開発・指導、地域のスポーツ振興や健康づくり、地域スポーツプログラムの開発支援、生涯スポーツ指導者の育成支援、運動・スポーツプログラムの地域社会への効果の測定などに関する教育・研究を行っています。



EXTRACURRICULAR ACTIVITIES

本学には、現在、22の体育系課外活動団体があり、ほとんどの学生が加入しています。特に、多くの体育系課外活動団体では、全国規模の大会で優秀な成績を収めるなど、活発な活動を展開しています。課外活動は、学生が自主的に行う活動であり、社会の一員として必要な資質を身に付けたり、教養を高めるなどの大切な役割を担っています。また、課外活動を通じて得られるさまざまな体験は、学生生活をより充実させ、一生忘れることのできない素晴らしい思い出にもなります。したがって、学生が各自の関心と適性にあった課外活動団体に所属し、より高い専門的知識や技能を身に付けるために積極的に活動することをお勧めします。



課外活動団体紹介

男子バレーボール部

部員数：7名(男子5名、女子2名)
練習日・時間：(月・火・木・金)16:30～20:00
(土・日)10:00～13:00 又は 13:00～16:00

主な成績：
○第1回全日本ビーチバレーボールU-23男女選抜優勝大会 4位
○第30回全日本ビーチバレーボール大学男女選手権大会 4位
○第32回全日本ビーチバレーボール大学男女選手権大会 準優勝

男子バレーボール部は、「インドア九州上位進出・ビーチバレーボール日本一」を目標に活動しています。近年は部員が少ないことを利点として捉え、練習の質の向上や部員各々の弱点・課題の克服、チーム力の向上に注力して日々鍛錬しております。



陸上競技部

部員数：106名(男子76名、女子30名)
練習日・時間：(月・火・木・金)16:00～19:30(土)9:00～13:00
※中長距離は朝練あり

主な成績：
○令和3年度日本学生陸上競技対校選手権大会
男子砲丸投3位、男子三段跳3位、女子800m7位
○令和3年度日本学生陸上競技個人選手権大会
男子砲丸投4位、男子走幅跳6位、女子800m4位
○令和3年度日本陸上競技選手権大会 男子砲丸投8位

陸上競技部は、5名の教員(コーチ)の指導のもと、各競技ブロックに分かれて精力的に活動を行っています。また、部の運営は学生が主体であり、主将・主事が中心となり、34の役職を、部員のほぼ全員で担っています。



女子バレーボール部

部員数：27名(女子27名)
練習日・時間：(火～金)16:30～20:00
(土・日)7:30～11:00
※朝練(火～金)6:45～7:15

主な成績：
○平成25年第60回秩父宮妃賜杯全日本バレーボール大学女子選手権大会 優勝
○平成28年第63回秩父宮妃賜杯全日本バレーボール大学女子選手権大会 優勝
○令和2年第67回秩父宮妃賜杯全日本バレーボール大学女子選手権大会 優勝

女子バレーボール部は、「創造」を今年度のスローガンに掲げ、日本一を目標に日々活動しています。一からチームを作りだす気持ちで新しいことにチャレンジしながら、感謝の気持ちを忘れず沢山の方々に愛されるチームを目指します。



硬式野球部

部員数：86名(男子83名、女子3名)
練習日・時間：(月・火・木)16:00～19:00、19:00～22:00【二班】
(金)17:00～19:00(土・日)8:30～練習試合など

主な成績：
○令和3年 鹿児島県大学野球春季リーグ戦 優勝
○令和3年 第105回九州地区大学野球選手権南部九州ブロック大会 準優勝
○令和4年 鹿児島県大学野球春季リーグ戦 優勝

鹿児島体育大学が誇る最高峰の施設と、最新のスポーツ科学技術を利用して、選手・スタッフ一人一人が当事者意識を持って「魅力的な野球」を創っています。日本一のチームワークを武器に全日本大学野球選手権で勝ち進み、野球界に一石を投じます！



男子バスケットボール部

部員数：23名(男子22名、女子1名)
練習日・時間：(月・火・木)16:20～19:00(金)18:30～20:30
(土)9:30～11:00、13:00～16:00

主な成績：
○平成21年全国日本大学バスケットボール選手権大会 ベスト8
○平成22年全国日本大学バスケットボール選手権大会 ベスト16
○平成27年全国日本総合選手権大会 出場 一回戦敗退

私達男子バスケットボール部は「愛し、愛されるチーム」という理念のもと、九州1部リーグ優勝、インカレ出場を目指し日々の練習に励んでいます。マネージャー・プレイヤーどちらも大歓迎です。興味があれば連絡よろしくお願いします。運動能力試験でバスケット部に入学希望の方がいれば、s201036@sky.nifs-k.ac.jpまで連絡をお願いします。



テニス部

部員数：24名(男子13名、女子11名)
練習日・時間：(月・火・木・金)16:15～19:00(土)9:00～13:00
主な成績：

○令和元年度全日本学生室内テニス選手権 女子シングルス準優勝
○令和3年度全日本大学対抗テニス王座決定試合 男子団体ベスト8
○令和3年度全日本大学対抗テニス王座決定試合 女子団体ベスト8

テニス部は、全国王座3位、九州学生テニス選手権大会での部員全員本戦出場を目標にしています。目標達成のため、部員各々が主体的に練習に取り組み、明るい雰囲気と競争心を持って部活動に励んでいます。



女子バスケットボール部

部員数：28名(女子28名)
練習日・時間：(火)18:30～21:00(水・金)17:30～19:00
(土・日)9:30～12:30

主な成績：
○第73回全日本大学バスケットボール選手権大会 ベスト16
○第28回全九州大学バスケットボールリーグ戦 準優勝

私たちは、前村先生を中心とするスタッフ陣のもと、「躍進～ Beat a Path～」をチーム理念に掲げ、バスケットボール界のディズニーランドと呼ばれることを目標に、チーム一丸となって練習に励んでいます！





サッカー部

部 員 数：91名(男子89名、女子2名)
練習日・時間：(月～金)16:00～18:00
(土・日)9:00～12:00

主 な 成 績：

- 平成25年度全日本大学サッカー選手権大会 3位
- 平成30年度全日本大学サッカートーナメント ベスト8
- 令和元年度天皇杯全日本サッカー選手権大会 3回戦進出

サッカー部は、「勇往邁進」をスローガンに掲げ、より多くの学生の試合経験を増やすことを目的に、3チームに分かれて活動しています。またサッカーの競技活動だけでなく、小・中学生の指導や幼稚園や保育園への巡回指導など、サッカーを通じての人間形成と地域貢献を行えるよう活動しています。



ラグビー部

部 員 数：1名(男子1名)
練習日・時間：(日)10:00～13:00
主 な 成 績：

ラグビー部は、社会人チームに参加させていただき、日々練習に励んでいます。ラグビーは1つのボールを皆で運ぶスポーツで体と体がぶつかり合う音は見ている人をも魅了します。少しでも、ラグビーに興味がある方は是非ラグビー部へ。



体操競技部

部 員 数：29名(男子25名、女子4名)
練習日・時間：(月・火・木・金)16:15～20:30
(水)16:00～17:15(土)15:15～19:00

主 な 成 績：

- 令和2年 全日本体操種目別選手権 男子あん馬 優勝
- 令和3年 全日本体操種目別選手権 男子鉄棒 3位
- 令和3年 全日本学生体操競技選手権大会 男子団体 準優勝

体操競技部は「至誠通天」をスローガンに掲げ、オリンピックや主要世界大会への代表選手輩出を目指します。また、全部員が選手として活動し個々の目標を達成するために成長するチームを目指します。



水泳部

部 員 数：40名(男子26名、女子14名)
練習日・時間：(月～木)16:00～19:00(金)17:50～19:00
(土)8:00～12:00(火・木)朝練を実施

主 な 成 績：

- 2004年アテネオリンピック 女子800m自由形 柴田亜衣 優勝
- 2005～2008、2012日本学生選手権 女子総合優勝
- 2022年日本学生選手権 3名4種目 入賞

水泳部は、人格形成と競技力向上を目的に活動をしています。国際大会代表選手や日本選手権、日本学生選手権などでベストパフォーマンスができるように日々練習に取り組んでいます。

柔道部

部 員 数：57名(男子42名、女子15名)
練習日・時間：(月)17:00～18:30
(火・水・木・金)16:20～18:30
(土)9:30～12:00

主 な 成 績：

- 令和4年度全日本学生体重別選手権大会 男子60kg優勝、男子90kg3位
- 令和元年度九州学生優勝大会 男子優勝、女子準優勝

昨年度30年ぶりの学生日本チャンピオンを輩出し、今年もその勢いで男女一丸となって稽古に取り組んでいます。全体練習より自主トレの方が盛り上がる主体性とモチベーションの高さが特徴です。



剣道部

部 員 数：138名(男子101名、女子37名)
練習日・時間：(月～金)概ね17:40～19:40
(土)9:00～12:00

主 な 成 績：

- 全日本学生剣道優勝大会 男子団体優勝4回
- 全日本女子学生剣道優勝大会 女子団体優勝10回

剣道部は、部訓である「朝鍛夕錬」「主一無適」の精神のもと、チーム一丸となり、学生剣道日本一を目指し、日々の稽古に取り組んでいます。近年のコロナ禍においては、一人一人が感染防止対策を徹底し、活動をしています。



ヨット部

部 員 数：13名(男子11名、女子2名)
練習日・時間：(火・水・木)16:30～19:00
(土・日)8:30～18:00

主 な 成 績：

- 全日本学生ヨット選手権大会 スナイプ級優勝2回
- 令和2年度全日本学生ヨット選手権大会 スナイプ級3位
- 令和3年度全日本学生ヨット選手権大会 出場

個々の活動がチームに好影響を与え、皆で切磋琢磨しながら全日本学生選手権での入賞を目指し活動しています。また、恵まれた環境を楽しみながら安全に活動していくシーマンシップも学んでいます。



漕艇部

部 員 数：5名(男子2名、女子3名)
練習日・時間：(月)17:00～18:30(火・水・木)16:00～20:00
(移動時間含む)(金)17:30～19:00

主 な 成 績：

- 令和2年度全日本学生ボート選手権大会 女子ダブルスカル 第4位
- 令和2年度全日本学生ボート選手権大会 女子シングルスカル 第5位
- 第99回全日本選手権大会(兼 令和3年度全日本学生ボート選手権大会) 第11位

漕艇部は、全部員がインカレでA決勝に進出しメダルを取ることを第一の目標とし、全日本選手権でも入賞を目指しています。部の雰囲気は、とても明るく賑やかです。お互いを刺激しあって、日々トレーニングに取り組んでいます。





自転車競技部

部 員 数：30名(男子23名、女子7名)
練習日・時間：(火～金)6:00～8:00、16:00～19:30
(土・日)9:00～16:00

主 な 成 績：

- 全日本大学対抗選手権自転車競技大会(全日本インカレ)
男子総合優勝4回 女子総合優勝14回
- 全国大会の優勝回数 339勝(2022年4月現在)
- オリンピック代表・国際大会代表選手 5名・40名以上(2022年4月現在)

自転車競技に最適大隅半島と本学の測定環境を活用しながら、競技力向上に努めています。また、自転車競技を軸とした地域活性化など、社会貢献にも力を入れています。



カヌー部

部 員 数：22名(男子20名、女子2名)
練習日・時間：(月～木)16:00～20:00(移動時間含む)
(金)17:30～19:00(土)8:00～16:30
(移動時間含む)(火)朝練6:30～8:00

主 な 成 績：

- 第57回全日本学生カヌースプリント選手権大会 男子カナディアンシングル1000m 優勝
- 第57回全日本学生カヌースプリント選手権大会 男子カナディアンシングル200m 第2位
- 第57回全日本学生カヌースプリント選手権大会 男子カナディアンペア200m 優勝

私たちカヌー部は、国際大会で日本代表として活躍すること、全日本学生選手権優勝が大きな目標です。また、自己の鍛錬はもとより、団体活動の中で個性をいかしつつ、部の発展に寄与していくことで、よりよい人格の形成を目指しています。



なぎなた部

部 員 数：9名(女子9名)
練習日・時間：(月・火・水・木)16:00～19:00(土)9:00～12:00
主 な 成 績：

- 令和元年全日本学生なぎなた選手権大会 団体準優勝・個人優勝
- 令和3年全日本学生なぎなた選手権大会 団体優勝・演技準優勝

私たちなぎなた部は、インカレ全種目優勝を目標に日々お稽古に励んでおります。現在のスローガンは「衝天」であり、目指す場所を見失わずチーム全員で上を向いて進むという意味が込められています。今後も目標に向けてチーム一丸となり、お稽古に精進して参ります。



セバタクロー部

部 員 数：2名(男子2名)
練習日・時間：(月・水)16:00～19:00
(金)14:30～17:30、19:00～21:00

主 な 成 績

- 平成27年度全日本ビギナーズカップ 準優勝
- 平成28年度全日本セバタクロージュニア選手権大会 ベスト16
- JOCジュニアオリンピックカップ第19回全日本セバタクロージュニア選手権大会 ベスト8

セバタクローは空中の格闘技とも呼ばれ、アクロバティックなプレーが魅力のスポーツです。日本では大学から競技を始める選手がほとんどで、大学在学中に日本代表に選ばれ活躍する選手もいます。私たちも高みを目指して切磋琢磨しています。

ウインドサーフィン部

部 員 数：5名(男子3名、女子2名)
練習日・時間：(火・水・木)16:30～18:30(土)9:00～16:00
(日)9:00～13:00

主 な 成 績：

- 平成29年度全日本学生ボードセーリング選手権個人戦 5位
- 2018PWAfoilクラス 世界ユース年間ランキング 1位
- 令和元年全日本学生ボードセーリング選手権個人戦 8位

個々に目標を掲げつつ、チームでの全日本インカレ入賞を目指し活動しています。大学から始める競技スポーツとしてとても魅力があります！和気あいあいとした雰囲気の中、一生懸命練習に励んでいます。



ゴルフ部

部 員 数：1名(男子1名)
練習日・時間：(水)16:00～19:00
(土・日)15:00～18:00

ゴルフ部は、ゴルフを通じた人との繋がり的大事にして、楽しくプレーすることをテーマに活動しています。大学内には、奥行き140ヤードの練習場があり、練習環境はとても充実しています。人数が少ない中でも精一杯活動して頑張っています。



ダンス部

部 員 数：5名(男子2名、女子3名)
練習日・時間：(月・水・木・金)16:00～18:00
主 な 成 績：

- 平成29年アーティストック・ムーブメント・イン・トヤマ(第20回少人数による創作ダンスコンクール) 出場
- 平成30年第31回全日本高校・大学ダンスフェスティバル(神戸)創作コンクール部門 出場
- 平成30年ワールドダンスコンペティション in NIIGATAソロ部門、グループ部門 出場

ダンス部は、ヒップホップやジャズ、創作ダンスまで幅広いジャンルで活動しています。壁一面に鏡のあるダンス練習室という恵まれた環境で、ダンスを通じた仲間とのつながりや、地域との交流を大切に、様々な身体表現の可能性を追求しています。



公式Webサイト「ビデオライブラリ」にて
課外活動紹介動画公開中！

QRコードを読み取って動画を見よう！



ENTRANCE EXAMINATION INFORMATION

入学者選抜実施結果

体育学部

単位：名

入 試 区 分	募集人員	志願者	受験者	合格者	入学者
総合型選抜 (SS)入試	スポーツ総合	10	11 (5)	※10 (5)	10 (5)
	武 道	5	4 (2)	※4 (2)	4 (2)
	計	15	15 (7)	※14 (7)	14 (7)
学校推薦型選抜	スポーツ総合	50	83 (25)	83 (25)	50 (19)
	武 道	20	27 (10)	27 (10)	21 (7)
	計	70	110 (35)	110 (35)	71 (26)
一般選抜	スポーツ総合	60	213 (30)	200 (29)	71 (12)
	武 道	25	31 (8)	30 (8)	30 (8)
	計	85	244 (38)	230 (37)	101 (20)
特別選抜 (帰国生徒)	スポーツ総合	若干人	0 (0)	0 (0)	0 (0)
	武 道	若干人	0 (0)	0 (0)	0 (0)
	計	—	0 (0)	0 (0)	0 (0)
特別選抜 (社会人)	スポーツ総合	若干人	1 (0)	1 (0)	1 (0)
	武 道	若干人	0 (0)	0 (0)	0 (0)
	計	—	1 (0)	1 (0)	1 (0)
私費外国人 留学生入試	スポーツ総合	若干人	1 (0)	1 (0)	1 (0)
	武 道	若干人	0 (0)	0 (0)	0 (0)
	計	—	1 (0)	1 (0)	1 (0)
合 計	スポーツ総合	120	309 (60)	295 (59)	133 (36)
	武 道	50	62 (20)	61 (20)	55 (17)
	計	170	371 (80)	356 (79)	188 (53)

※総合型選抜(SS)入試の受験者数は、第2次選考の受験者数を示す。

入 試 区 分	募集人員	志願者	受験者	合格者	入学者
第3年次編入学	スポーツ総合	20	36 (7)	36 (7)	20 (4)
	武 道		0 (0)	0 (0)	0 (0)
合 計	20	36 (7)	36 (7)	20 (4)	20 (4)

令和4年度
出身地別入学者数
(出身高等学校等所在地による都道府県別内訳)
合計184(52)
(第3年次編入学者は除く)
※()内は女子で内数

令和4年度
出身地別在学者数
(出身高等学校等所在地による都道府県別内訳)
合計766(205)
(令和3年4月現在在籍者全員)
※()内は女子で内数



大学説明会及び体験授業 (鹿屋体育大学白水キャンパスで開催)

大学説明会

第1回 | 令和4年 7月16日 (土) 13:00~16:00

第2回 | 令和4年 10月8日 (土) 10:20~16:00

本学の特色や教育・研究の内容について理解を深めてもらうとともに、施設見学等により、進路選択の参考としてもらうために次のとおり実施します。受験生、保護者、高校の先生方など多数の参加をお待ちしています。

①在学生からのアドバイス ②質疑応答 ③実験、実習体験を含む施設見学 ④大学案内・入試資料・記念グッズ配付

※新型コロナウイルス感染防止のため、オンラインでの開催に変更する可能性があります。



体験授業

本学の教育・研究を少しでも知っていただくために、高校生受験希望者(保護者を含む)を対象に次の通り体験授業を企画いたしました。多数の参加をお待ちしています。

実施日 | 令和4年 7月17日 (日)



資料請求

募集要項等請求先

〒891-2393
鹿児島県鹿屋市白水町1番地
鹿屋体育大学教務課入試係
TEL (0994) 46-4869



その他資料請求



テレメール
より資料請求



モバっちょ
より資料請求

大学ホームページ (受験生の皆様へ)

詳細については、本学ホームページをご覧ください。



鹿屋体育大学のホームページを開設しています。学部・大学院の詳細な内容やキャンパスライフ、入試情報などをお知らせします。

<https://www.nifs-k.ac.jp/>



REGIONAL CONTRIBUTION & UNIVERSITY-COMMUNITY RELATIONS PROJECTS

鹿屋体育大学では、大学のもつ人的・知的資源、施設・設備等を活かし、様々な地域貢献・社会連携等の取組を行っています。学生が主体的に関わるものも多く、貴重な学びの場にもなっています。ここでは本学が行っている主な取組をいくつか紹介します。

スポーツボランティア

地域の子どもの体力低下、運動部離れ、スポーツ指導者の不足、さらに中・高齢者の運動不足の解消や健康づくりのために、鹿屋市と連携し、学生ボランティアが地域の学校やスポーツ団体等においてスポーツ指導（指導補助）を安全で円滑にできるように支援しています。



公開講座

例年、本学の強みを生かしたスポーツ講座（マリンスポーツ、バスケットボール、バレーボール）や健康講座（水中運動教室）、英語の講座など、15講座ほど開講しています。講座によっては、地域の方々だけでなく離島や県外からも多くの参加があります。また、かごしま県民大学や県総合教育センターとの連携講座なども開設しています。



子供たちの運動能力、体力の変化データをもとに考案された動画「Exseed」

スポーツトレーニング教育研究センターでは子どもたちの体力低下に歯止めをかけようと、運動の基礎となる動作を5分で正しく学べるダンス「Exseed」（読み：エクシード）を開発しました。エクシードには“走る”“跳ぶ”の基本的な動きが盛り込まれており、協力校でのリサーチを基に、高井洋平准教授がトレーニングの要素を伝えて、梶ちか子講師が約5分間のダンス風にアレンジして完成させました。本学ダンス部が協力した動画は、公式Webサイト等で配信されています。



肩こり・ひざ・腰・脳トレ・引き締め 5種類からなる「健康運動」

生涯スポーツ実践センターの中垣内真樹センター長監修の健康運動をわかりやすく紹介するコーナーがMBC南日本放送で放送されています。運動は「肩こり」・「ひざ」・「腰」・「脳トレ」・「引き締め」の5つのカテゴリーを順番に、中垣内センター長による模範解説とMBCタレント2人の実践篇を組み合わせると約90秒にまとめており、毎日継続的に実践できるように展開しました。現在では学内の電子掲示板で配信しています。



登山中の身のこなしをよくする「登山体操」

安全かつ快適な登山に有効な「身のこなし」の獲得が期待できる「登山体操」をスポーツトレーニング教育研究センターの山本正嘉センター長らが考案し、NHK新潟支局で放送、HP等で配信されました。登山体操は登山中に行う様々な動作を模擬あるいは強調した3分間で10種類の動きを行うリズムカルな体操です。本学で登山に必要な動作を要素別に提案し、著名なダンサーである近藤良平さんがそれをもとに振り付けを考え、楽曲も付け完成させました。



鹿屋市・垂水市との連携

教育・文化・スポーツの振興、健康及び福祉の充実、まちづくり、地域産業の活性化、生涯学習の推進などで包括連携協定を結んでいます。主な取組として、鹿屋市との「スポーツ合宿まちづくり推進事業」、垂水市のマリンスポーツに関する事業等への参加・協力を行っています。



SPセンターの教員と映像を確認する様子

PICK UP ① スポーツ合宿まちづくり推進事業

本事業は、トップアスリートや団体をスポーツ合宿地として鹿屋市に誘致し、鹿屋市民の交流等により地域の活性化に資することを目的として行っています。本学では、鹿屋市で合宿を行うトップアスリート等を対象に、本学スポーツパフォーマンス研究センターの最先端機器を活用した各種測定・分析データを基に、トレーニング助言等を実施しています。



スポーツをカタルガ（語るスポーツ育成プロジェクト）の様子



PICK UP ② Blue Winds 事業（地域とのスポーツ連携事業）

平成29年度より、大学スポーツを通して鹿屋市をはじめとした地域の活性化につなげる文化モデル（KANOAモデル）を進めており、令和元年度からは鹿屋市と共同で創設した地域密着スポーツブランド「Blue Winds」を冠とした「Blue Winds事業」として、昨年度に引き続き、「かのやエンジョイスポーツ」や「カレッジスポーツデイ」、「みんなのタイムトライアル」等のイベントを実施しました。



スポーツキャンプの様子（バレーボール）

国立大隅青少年自然の家との連携

相互の人的・知的資源の交流と物的資源の活用によるスポーツ体験活動等を通じた社会貢献及び教育研究分野の発展に資するための連携・協力事業を行っています。例として、おおすみくんちスポーツキャンプでの本学学生による指導・測定などが挙げられます。



各課外活動団体の取組

各課外活動団体で、地域の小中高生等を対象とした競技会やスポーツ教室を開催しています。また、自治体等が主催する競技大会での審判活動や運営補助、各種スポーツ教室での指導補助を行うなど、積極的に社会・地域貢献活動に取り組んでいます。



スポーツリフレッシュセミナー

本学と鹿児島県教育委員会との共催により、中学校、高等学校、特別支援学校の保健体育担当教員及び運動部活動指導者並びに競技団体の競技力向上担当指導者を対象に、競技力向上を担う指導者としての資質向上を図ることを目的として、体育・スポーツ及び健康に関する専門的研究や最新のトレーニング法の研修を実施しています。

ACCESS & AREA MAP



1 かのやばら園

8 haの広大な敷地に3万5千株のバラが植えられた日本最大級を誇る「かのやばら園」。鹿屋オリジナルのバラ「プリンセスかのや」をはじめ、春のシーズンには、たくさんのバラが咲き誇ります。



2 平和公園串良平和アリーナ

滑走路の2本の直線道路が桜の名所としても知られている平和公園にあるアリーナ。2023年10月かごしま国体では成年女子バレーボールの試合が行われる予定です。



3 仲町・京町エリア

鹿屋市中心市街地は美味しい、楽しいがいっぱい。レトロな雰囲気のお店や鹿屋の特産物、名物を味わえるお店が数多く並びます。



4 神徳稲荷神社

珍しいガラスの鳥居と連なる赤い鳥居が印象的な神社。静かで落ち着いた雰囲気でお参りやお宮参りにぴったりです。



5 雄川の滝

近年話題になった癒しスポット。1.2kmの遊歩道を進むと大パノラマが広がり、エメラルドグリーンの滝つぼは美しく神秘的です。



6 道の駅たるみずはまびら

垂水港から車で約5分の場所にある道の駅。地域の野菜や特産品を販売するマルシェや錦江湾と桜島を一望できるカフェやレストランがあります。